

C o n t e n t s

目 次

挨拶・祝辞

挨拶／尼崎市民共済生活協同組合 理事長 赤川 孝平	1
祝辞／兵庫県知事 齋藤 元彦 様	2
尼崎市市長 松本 眞 様	3
全国共済生活協同組合連合会 理事長 林 浩一 様	4
兵庫県生活協同組合連合会 会長理事 岩山 利久 様	5

歴代役員一覧・組織図

歴代理事長	8
歴代役員一覧	9
組織図	18

沿革

設立経緯	20
70年のあゆみ	26
時代と歩んだ広告物	43

創立70周年事業

創立70周年記念式典	52
共済募集人からのメッセージ	56
取次所(現 共済募集人)の研修旅行	58
共済募集人の研修	60
組合に寄せられたお客様の声	62

資料

グラフで見る70年	66
組合事業変遷一覧表	70

編集後記	72
------------	----

創立70周年記念誌

70th
Anniversary

尼崎市民共済生活協同組合

挨拶

尼崎市民共済創生活協同組合 創立70周年を迎えて

尼崎市民共済生活協同組合 理事長

赤川 孝平



尼崎市民共済生活協同組合は、昭和30年に創立され、本年(令和7年)を持って創立70周年の節目の年を迎えることができました。

これもひとえに組合員の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心から深く感謝申し上げます。

当組合は戦後の苦難な社会情勢が続く中、市民生活の安定向上を図ることを目的に、組合員による相互扶助の助け合いの精神のもとに発足いたしました。

創立に当っては“生協の父”と言われた賀川豊彦氏が大きく関わり、創立後も2年間、当組合の顧問を務め、共済事業の基盤づくりにご尽力くださいました。

また、組合員の募集においては、社会福祉協議会や婦人会、民生委員そして消防団や市民保険組合をはじめ各労働組合の皆様が、市と共に「募集の主体」となって精力的に募集活動を行ないました。

当時、地域福祉団体や労働組合の皆様が募集に関わるのは全国で初めてのことであり、厚生省をはじめ関係機関から大きな注目を集めたようです。

翌年には、これもまた全国で初の試みとして付加給付金(死亡給付金)の規定を設けて直ちに実施しています。

当組合創立時(昭和30年代初頭)は、ちょうど戦後の混乱期から高度経済成長期へ移ろうとしている時期で、尼崎市は工業生産の拡大などにより急激に人口が増加し、深刻な住宅不足に陥っていました。そんな中、当組合が共済事業の一環として住宅建設を行なっております。

全国に類例を見ない中、昭和37年からの30年で「鉄筋5階建住宅」5棟を建設し、市だけでは追いつかない住宅事業を側面から支えました。

今、こうして歴史を振り返りますと、当組合は創立当初から全国に大きな影響を与えてきたことが伺えます。

創立後は、日本経済の高度成長とあいまって組合員の数も増加し、多い時には10万人を超える組合員の方々に支えられてきました。

しかしながら、70年という時代の流れの中で、平成3年のバブル崩壊を境に数年後には減少に転じると共に競合他社の台頭などにより、今では組合員の数も3万人を割っています。

この度の70年という節目を機に、協同組合の理念である「相互扶助」の精神を再確認すると共に、一人でも多くの皆様にご組合をご利用いただけるよう、これからも地域に密着した共済生協「身近な市民共済」「信頼される市民共済」を目指し、職員一同、精一杯頑張っていきたいと思っております。

どうぞ皆様、これからも尼崎市民共済生活協同組合に対するご支援、ご協力をよろしくお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

祝 辞

尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年を祝して

兵庫県知事

齋藤 元彦



尼崎市民共済生活協同組合の創立70周年を心よりお喜び申し上げます。

組合員の助け合いによって生活の安定を保障することを目的に、昭和30(1955)年に設立されて以来、火災共済・交通等傷害共済・総合医療共済・定期生命共済など様々な共済事業を展開し、共助・協同の輪を広げ、組合員の皆様に安心・安全を届けてこられました。赤川孝平理事長をはじめ、これまでご尽力してこられた関係の皆様に、深く敬意を表します。

今年は、阪神・淡路大震災から30年という節目の年に当たります。近年、自然災害が頻発するなど災害リスクが高まる一方で、災害の記憶の風化が懸念されている今、震災から得た経験と教訓を次世代に繋ぎ、次なる災害への備えに活かしていかなければいけません。

災害への備えは、自らの命や安全を守る「自助」、自治体や消防など公的機関が行う救助・支援の「公助」、近隣住民や周囲の人々が協力して助け合う「共助」に区分されますが、阪神・淡路大震災では、地域コミュニティやボランティアなどの「共助」の力が大きな役割を果たしました。

核家族化やコロナ禍などにより人間関係が希薄になったといわれるなか、改めて人と人との絆、ともに生きることの価値を震災から得た経験や教訓として後世へ繋いでいかなければなりません。

貴組合の皆様は、個人の力では防ぎきれない災害を、共助の精神のもと乗り越えるなど、組合員相互の生活文化の向上を図る活動を展開しておられます。皆様の活動を心強く感じるとともに、引き続き、相互扶助の精神を広げられますことを期待しています。兵庫県としましても、震災30年事業の取組などを通じて、誰もが安全に、安心して暮らすことができる社会の実現に全力で取り組んでまいります。

また、貴組合では、「顔の見える関係づくり」を大切にされ、出張説明・相談会の実施や対面による集金といった地域に根差した活動を継続的に行われています。

県内の消費者トラブルに関する相談が4万件を超えて高止まりし、その半数が60歳代以上の高齢者であるなか、貴組合が日頃から気軽に相談できる関係づくりを進めていただいていることに改めて感謝いたします。

県としても、県内7地域の消費生活センター等ごとに設置している市町、警察、社会福祉協議会などと連携した見守りネットワークを通じて、高齢者の安全安心な消費生活の確保に努めてまいります。

今後とも、誰もが安心・安全に暮らすことができる社会の実現に向け、力を尽くしてまいりますので、一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

最後に、尼崎市民共済生活協同組合のますますのご発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

尼崎市民共済 創立70周年記念誌へのごあいさつ

尼崎市長

松本 眞



尼崎市民共済生活協同組合が創立70周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴組合が70年という長きにわたり、組合員の助け合いによって生活の安定を保障することを目的に、共済事業を通じて市民の暮らしを支えていただいておりますことに深く敬意を表します。

貴組合が設立された当時、市内には木造長屋や住宅密集地が多く、ひとたび火災が発生すると延焼もあり、大きな被害が出ていました。

そのため本市では、火災から市民の生命、身体及び財産を守るべく、木造老朽住宅の解消や住環境改善、防災マップの作成支援など、火災の未然防止と火災発生時の安全性確保に取り組んでまいりました。一方、貴組合では、昭和31年に火災共済事業を開始し、火災に遭った方への支援、救済を行ってこられました。

また、本市の人身事故発生件数がピークを迎えた昭和40年代には、貴組合において交通等傷害共済事業を開始され、交通事故被害を受けた方への支援、救済を行ってこられましたが、本市では、市内の交通事故発生状況から、人身事故に占める自転車関連事故の割合が全国的にも高い水準であるため、関係機関や諸団体との協力のもと、安全で快適な自転車利用環境の整備や自転車教室の実施等による交通安全思想の普及徹底などにより、交通事故を減らす取組を進めてまいりました。

このように、貴組合におかれましては、市とともに、市民の安心安全を守る大切な役割を担っていただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

近年保険業界においては、民間保険会社をはじめとする様々な選択肢が増えていますが、貴組合の共済事業は他の民間商品に比べて掛金が安価であり、今後ますます高齢単身世帯の増加が見込まれる中、貴組合が果たされる役割はさらに重要になると考えています。

貴組合におかれましては、引き続き市民のセーフティネット制度の一つとして、市民の安心安全のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

尼崎市は、令和8年に市制110周年を迎えます。

過去から現在へ、変化を続けてきたまちをさらに未来へつないでいくため、「あまがさき つなぐつながる うごきだす」というテーマのもと、市民・事業者の皆様とともにこのまちの魅力をさらに高めていくため、引き続き全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、今後とも本市の市政運営に温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴組合が70周年の節目を契機に、さらなるご発展を遂げられますことを心から祈念いたします。

祝 辞

尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年を祝して

全国共済生活協同組合連合会 理事長

林 浩一



尼崎市民共済生活協同組合が創立70周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。全国共済生活協同組合連合会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和30年12月の創立以来、相互扶助の精神に基づき、組合員の生活の安定と文化の向上を図ることを目的に、地域に密着した共済生協として、火災共済をはじめとする各種事業を積極的に展開してこられました。

高度経済成長期には、尼崎が阪神工業地帯の中核都市として大きく発展する中、災害や事故から市民生活を守る取り組みを着実に進められ、市民にとって頼れる存在として大きな役割を果たしてこられました。その歩みは、卓越した見識とたゆまぬご努力に支えられたものであり、確かな発展の歴史として刻まれております。

これもひとえに、創立以来70年の永きにわたり、その運営に携わってこられた歴代理事長をはじめ、多くの関係者の皆様、そして組合員の皆様のご尽力の賜物であり、ここに改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

また、私も全国共済生活協同組合連合会の運営に際しましても、貴組合の皆様方には、日頃より格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、尼崎市が舞台の「あまろっく」と題する映画が公開されました。

尼崎では、「尼ロック」と呼ばれる「尼崎閘門」が治水・高潮対策という重要な役割を担ってきましたが、映画でも、年齢や価値観も異なる家族が、苦難に立ち向かうことで、次第にひとつになっていく姿を描くなかで、「尼ロック」が家族を守る象徴に例えられ、その役割が父から、やがて娘へと引き継がれていくという物語です。

「尼ロック」の竣工も昭和30年とのことですから、「尼ロック」がこれまで、閘門式防潮堤として、高潮や洪水等の浸水被害から尼崎のまちを守ってきたのと足並みを揃えるように、貴組合は、市民の生活・財産を守る共済制度の普及を通して、暮らしに安心と安全を提供するという使命と役割を担ってこられました。

今日、少子高齢化と人口減少が進む中、年金など社会保障制度の持続性に対する不安、世界経済の不安定化に伴う物価高騰、さらには地球温暖化の影響や気候変動に起因する自然災害の激甚化・頻発化、大規模地震への備えなど、私たちを取り巻く社会環境はますます厳しさを増しております。

こうした時代にあって、市民が安心して暮らすためには、生活の安定が何よりも大切であります。その基盤を支え、組合員に寄り添いながら安心を提供し続ける貴組合の取り組みは、誠に心強い限りであり、今後も地域にとっては大きな支えとなるものと確信しております。

全国共済生活協同組合連合会といたしましても、協同互助の精神を共にしつつ、これまで以上に連携を深め、共済という助け合いの輪を広げてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、尼崎市民共済生活協同組合が創立70周年を新たな飛躍の契機とされ、これからも「組合員とともに、地域とともに」歩みを進められますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

創立70周年記念誌へのごあいさつ

兵庫県生活協同組合連合会 会長理事

岩山 利久



尼崎市民共済生活協同組合の創立70周年にあたり、兵庫県生活協同組合連合会の仲間とともに心よりお祝い申し上げます。70年という長きにわたり、地域に根差した共済事業を展開し、多くの組合員のくらしの安心を支え、地域に貢献し続けてこられた皆様のご苦勞とご努力に、心より敬意を表します。

70年前、1955年(昭和30年)の日本は、敗戦からの復興を経て高度経済成長期へと移行する過渡期にありました。この時期、公的年金制度は発展途上にあり、民間保険の普及もまだ十分ではありませんでした。国民の生活は不安定な部分も多く、病気、災害、失業といった事態への備えが必要であったと考えられます。生活防衛と地域コミュニティにおける相互扶助の意識が高まる中で、共済は地域でくらす人々の生活を支える重要な役割を担っていたといえます。

そのような時代の中、貴組合が誕生しました。設立に大きく関わった人物に、生協の父である賀川豊彦の存在があり設立から2年間、貴組合の顧問に就任され共済事業の基盤づくりに尽力されました。貴組合は賀川豊彦の指導のもと、市民一人ひとりの「もしも」に備え、お互いに助け合うという共済の精神を大切にしながら、手頃な掛金で充実した保障を提供されてきました。

創立翌年の「火災共済事業」に始まり、1967年に「交通等傷害共済事業」、1999年に「受託共済事業(コープ共済)」、2011年に「火災共済付帯保険」を取り扱い、2020年に「保険代理事業」、そして2021年に「保険代理事業」に「交通事故傷害保険」を追加されるなど、常に組合員のニーズに応えながら多くの取り組みを積み重ねてこられました。

その地道な活動の積み重ねにより、今日の確固たる信頼を築き上げられ、今年70周年を迎えられます。

これもひとえに、創設に尽力された先人の方々、そして今日まで事業を支えてこられた役職員の皆様、そして何より、共済事業にご理解ご協力いただいた組合員の皆様のお力添えの賜物であり、重ねて敬意を表します。

この度、貴組合のこれまでの軌跡が記念誌としてまとめられることは非常に意義深く、全国の生協の歴史の貴重な記録として受け継がれ、今後の生協運動のさらなる前進につながるものと思います。

私事ではありますが、亡くなった両親は住み慣れたまちで安心して暮らすうえで、尼崎市民共済生活協同組合の皆さんに大変お世話になりました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

私たち生協の役割は、「安心してくらし続けられる地域社会づくりに貢献する」ということです。組合員も「住み慣れたまちで安心してくらし続けたい」という願いを持っています。兵庫県生活協同組合連合会も平和で持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、尼崎市民共済生活協同組合の皆さま、兵庫県生活協同組合連合会の仲間とともにすすめたいと考えています。

70周年を迎え、これからも時代の変化に対応しながら、地域に密着した共済生協として、また地域社会に貢献し続けられる存在として、さらなるご発展を遂げられることを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

歴代役員一覧 組織図

70th
Anniversary



歴代理事長



初代

薄井 一哉

(尼崎市長)

昭和29年(1954)12月12日
昭和41年(1966)12月11日



第2代

篠田 隆義

(尼崎市長)

昭和41年(1966)12月20日
昭和54年(1979)5月28日



第3代

野草 平十郎

(尼崎市長)

昭和54年(1979)5月28日
平成3年(1991)1月23日



第4代

六島 誠之助

(尼崎市長)

平成3年(1991)1月23日
平成6年(1994)12月11日



第5代

宮田 良雄

(尼崎市長)

平成7年(1995)2月16日
平成14年(2002)12月11日



第6代

白井 文

(尼崎市長)

平成15年(2003)1月22日
平成22年(2010)12月11日



第7代

稲村 和美

(尼崎市長)

平成23年(2011)2月2日
平成28年(2016)6月6日



第8代

本田 良生

(元尼崎市消防局長)

平成28年(2016)6月6日
令和2年(2020)6月5日



第9代

河本 博志

(元尼崎市消防局長)

令和2年(2020)6月5日
令和6年(2024)6月10日



第10代

赤川 孝平

(元尼崎市消防局長)

令和6年(2024)6月10日

歴代役員一覽

尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年記念誌

歴代役員一覽・組織図

1955～1962

通常総代会	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962
	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度	昭和34年度	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度
	創立総会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
理事長	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)
専務理事								浅野 清 (助役)
常務理事	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	佐藤 俊夫 (市議会議員) 篠田 隆義 (助役)	佐藤 俊夫 (市議会議員)
理 事	河本 秀夫 (市議会議員) 安田 栄太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 日下 梅吉 (尼崎市消防協会長) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 秋田 茂綱 (西日本鍛工労組) 吉村 望 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	河本 秀夫 (市議会議員) 安田 栄太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 日下 梅吉 (尼崎市消防協会長) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 秋田 茂綱 (西日本鍛工労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	河本 秀夫 (市議会議員) 安田 栄太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 秋田 茂綱 (西日本鍛工労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	河本 秀夫 (市議会議員) 安田 栄太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 秋田 茂綱 (西日本鍛工労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	梶本 正 (市議会議員) 小西 学 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (※2) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	梶本 正 (市議会議員) 小西 学 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (※2) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	椿本 鉄藏 (市議会議員) 中辻 亀市 (市議会議員) 石井 助一 (市議会議員) 松永 義雄 (東洋精機労組) 滝下 幸男 (住友鋼管労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (※2) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 上田 謙之助 (組合事務局長)	大石 忠一 (市議会議員) 西田 弘 (市議会議員) 溝口 信次 (市議会議員) 松永 義雄 (国保関係組合) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (※2) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 丸谷 実 (組合事務局長)
監 事	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 白髪 信次郎 (市監査委員) 谷垣 一 (商店連盟会長)	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 白髪 信次郎 (市監査委員) 谷垣 一 (商店連盟会長)	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 白髪 信次郎 (市監査委員) 谷垣 一 (商店連盟会長)	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)
顧 問	賀川 豊彦 (尼崎市顧問) 白石 市郎 (尼崎市議会議長)	賀川 豊彦 (尼崎市顧問) 白石 市郎 (尼崎市議会議長)					大石 忠一 (市議会議員)	
事務局長		玉井 栄次郎	南波 九一	南波 九一	上田 謙之助	上田 謙之助	上田 謙之助	丸谷 実

(※1) 尼崎市民保険組合連合会長

(※2) 関西電力労働組合尼崎第一発電所支部

歴代役員一覧

1963～1970

	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970
通常総代会	昭和38年度 第8回	昭和39年度 第9回	昭和40年度 第10回	昭和41年度 第11回	昭和42年度 第12回	昭和43年度 第13回	昭和44年度 第14回	昭和45年度 第15回
理事長	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)
専務理事	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	野草 平十郎 (助役)
常務理事	佐藤 俊夫 (市議会議員)	大石 忠一 (市議会議員) 松永 義雄 (社会福祉協会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組)	大石 忠一 (市議会議員) 松永 義雄 (社会福祉協会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組)	羽田 伊太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松本 梅治 (市議会議員) 松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松本 梅治 (市議会議員) 松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松本 梅治 (市議会議員) 大石 忠一 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 中塚 薫 (収入役)
理 事	大石 忠一 (市議会議員) 寺本 直次郎 (市議会議員) 米田 右一 (市議会議員) 松永 義雄 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (※2) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 北川 皓 (組合事務局長)	西村 亀 (市議会議員) 山手 正則 (市議会議員) 松田 安輝 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 橋本 広野 (関西電力労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 北川 皓 (組合事務局長)	椿本 鉄藏 (市議会議員) 米田 右一 (市議会議員) 早山 豊 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 橋本 広野 (関西電力労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長)	米田 右一 (市議会議員) 原田 鷹一 (市議会議員) 原田 永信 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (大庄取次所協議会) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 橋本 広野 (関西電力労組) 岩下 維亮 (尼崎市職員労組) 鎌田 栄吉 (尼崎製鉄労組) 中村 千世 (連合婦人会) 土井 一秋 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長)	根塚 繁夫 (市議会議員) 松本 梅治 (市議会議員) 阪本 義一 (市議会議員) 田中 芳雄 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (大庄取次所協議会) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 橋本 広野 (関西電力労組) 岩下 維亮 (尼崎市職員労組) 鎌田 栄吉 (尼崎製鉄労組) 中村 千世 (連合婦人会) 土井 一秋 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長)	阪本 義一 (市議会議員) 原田 永信 (市議会議員) 牧野 隆二 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 川崎 武平 (大庄取次所協議会) 橋本 広野 (関西電力労組) 岩下 維亮 (尼崎市職員労組) 樽谷 菊夫 (大同鋼板労組) 中村 千世 (連合婦人会) 北川 皓 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長)	大久保 鹿弼 (市議会議員) 阪本 義一 (市議会議員) 川内 潔 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 川崎 武平 (大庄取次所協議会) 源太 良太郎 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 樽谷 菊夫 (大同鋼板労組) 中村 千世 (連合婦人会) 村田 亘 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長)	栗田 利正 (市議会議員) 平坂 一博 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 徳垣 為夫 (大庄取次所協議会) 古川 アサ子 (園田取次所協議会) 源太 良太郎 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 樽谷 菊夫 (大同鋼板労組) 林 はる (連合婦人会) 村田 亘 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長)
監 事	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 日高 重義 (市監査委員)
顧問		佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
事務局長	北川 皓	北川 皓	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松

(※2) 関西電力労働組合尼崎第一発電所支部

1971～1978

通常総代会	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978
	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回
理事長	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)
専務理事	植村 英一 (助役)	植村 英一 (助役)	植村 英一 (助役)	野草 平十郎 (助役)	野草 平十郎 (助役)	野草 平十郎 (助役)	藤原 博 (助役)	早崎 憲人 (助役)
常務理事	松本 梅治 (市議会議員)	松本 松太郎 (市議会議員)	明田 謙二 (市議会議員)	明田 謙二 (市議会議員)	松田 和行 (市議会議員)	明田 謙二 (市議会議員)	三木 宏 (市議会議員)	潮田 政義 (市議会議員)
	松本 松太郎 (市議会議員)	石本 晟 (市議会議員)	石本 晟 (市議会議員)	西中 進 (市議会議員)	牧野 隆二 (市議会議員)	松田 和行 (市議会議員)	井上 博 (市議会議員)	原田 鷹市 (市議会議員)
	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)
	篠原 健藏 (住友金属尼崎労組)	篠原 健藏 (住友金属尼崎労組)	篠原 健藏 (住友金属尼崎労組)	藤田 和男 (住友金属尼崎労組)	藤田 和男 (住友金属尼崎労組)	藤田 和男 (住友金属尼崎労組)	藤田 和男 (住友金属尼崎労組)	藤田 和男 (住友金属尼崎労組)
	中塚 薫 (収入役)	中塚 薫 (収入役)	中塚 薫 (収入役)	中村 好成 (市民生活局長)	井上 和彦 (市民生活局長)	安東 喜作 (市民生活局長)	香山 圭一郎 (市民経済局長)	杉本 巍 (市民経済局長)
理 事	掛井 正彦 (市議会議員)	奥田 満太郎 (市議会議員)	中辻 亀市 (市議会議員)	川内 潔 (市議会議員)	中川 日出和 (市議会議員)	宮崎 伍郎 (市議会議員)	松田 和行 (市議会議員)	波多 正響 (市議会議員)
	潮田 政義 (市議会議員)	馬場 武夫 (市議会議員)	島田 幸治 (市議会議員)	波多 正響 (市議会議員)	古屋 隆敏 (市議会議員)	島田 幸治 (市議会議員)	中村 四郎 (市議会議員)	奥野 勝雄 (市議会議員)
	入江 藤次郎 (本庁取次所協議会)	入江 藤次郎 (本庁取次所協議会)	入江 藤次郎 (本庁取次所協議会)	入江 藤次郎 (本庁取次所協議会)	入江 藤次郎 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)
	桂 周次 (立花取次所協議会)	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)
	徳垣 為夫 (大庄取次所協議会)	古川 アサ子 (園田取次所協議会)	古川 アサ子 (園田取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)
	古川 アサ子 (園田取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	梅沢 竹松 (園田取次所協議会)	梅沢 竹松 (園田取次所協議会)	梅沢 竹松 (園田取次所協議会)	梅沢 竹松 (園田取次所協議会)	梅沢 竹松 (園田取次所協議会)
	源太 良太郎 (関西電力労組)	源太 良太郎 (関西電力労組)	谷川 俊一 (関西電力労組)	越智 一雄 (関西電力労組)	越智 一雄 (関西電力労組)	越智 一雄 (関西電力労組)	越智 一雄 (関西電力労組)	越智 一雄 (関西電力労組)
	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)	堂脇 三郎 (尼崎市職員労組)
	樽谷 菊夫 (大同鋼板労組)	樽谷 菊夫 (大同鋼板労組)	前田 孝雄 (大同鋼板労組)	前田 孝雄 (大同鋼板労組)	前田 孝雄 (大同鋼板労組)	前田 孝雄 (大同鋼板労組)	前田 孝雄 (大同鋼板労組)	前田 孝雄 (大同鋼板労組)
	林 はる (連合婦人会)	室井 一子 (連合婦人会)	室井 一子 (連合婦人会)	室井 一子 (連合婦人会)	室井 一子 (連合婦人会)	室井 一子 (連合婦人会)	室井 一子 (連合婦人会)	室井 一子 (連合婦人会)
	西垣 寿夫 (民生福祉局長)	西垣 寿夫 (民生福祉局長)	西垣 寿夫 (民生福祉局長)	石原 武彦 (民生福祉局長)	早崎 憲人 (民生福祉局長)	梶 暹 (民生福祉局長)	梶 暹 (民生福祉局長)	梶 暹 (民生福祉局長)
	小寺 貞二郎 (消防局長)	小寺 貞二郎 (消防局長)	西山 敏昌 (消防局長)	西山 敏昌 (消防局長)	稲田 武雄 (消防局長)	稲田 武雄 (消防局長)	井上 和彦 (消防局長)	井上 和彦 (消防局長)
	立石 芳松 (組合事務局長)	牧野 守七郎 (組合事務局長)	牧野 守七郎 (組合事務局長)	牧野 守七郎 (組合事務局長)	山上 三二 (組合事務局長)	山上 三二 (組合事務局長)	山上 三二 (組合事務局長)	喜多 豪 (組合事務局長)
監 事	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)
	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)
	日高 重義 (市監査委員)	日高 重義 (市監査委員)	日高 重義 (市監査委員)	日高 重義 (市監査委員)	松田 安輝 (市監査委員)	松田 安輝 (市監査委員)	松田 安輝 (市監査委員)	松田 安輝 (市監査委員)
顧 問	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
	大石 忠一							
事務局長	牧野 守七郎	牧野 守七郎	牧野 守七郎	牧野 守七郎	山上 三二	山上 三二	山上 三二	喜多 豪

歴代役員一覽

1979～1986

通常総代会	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986
	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度
	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回
理事長	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)
専務理事	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	中嶋 千萬城 (助役)
常務理事	小西 ヨシ子 (市議会議員) 垣内 愛三 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 杉本 巍 (市民経済局長)	日下 章 (市議会議員) 掛井 正彦 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中嶋 千萬城 (市民経済局長)	安田 勝 (市議会議員) 宇栄原 政幸 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中嶋 千萬城 (市民経済局長)	奥野 勝雄 (市議会議員) 白石 市郎 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中嶋 千萬城 (市民経済局長)	松田 和行 (市議会議員) 滝下 幸男 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組) 岩下 維亮 (市民局長)	多田 敏治 (市議会議員) 西中 進 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組) 岩下 維亮 (市民局長) 吉川 昇 (事務局常勤)	松田 和行 (市議会議員) 林 忠雄 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組) 辰己 浩 (市民局長) 吉川 昇 (事務局常勤)	松田 和行 (市議会議員) 滝下 幸男 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組) 辰己 浩 (市民局長) 佐竹 三木夫 (事務局常勤)
理 事	波多 正響 (市議会議員) 長浜 勝彦 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 幾田 次夫 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 喜多 豪 (組合事務局長)	白石 市郎 (市議会議員) 西中 進 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 皆吉 通雄 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 幾田 次夫 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 石丸 幸男 (組合事務局長)	三木 宏 (市議会議員) 京見 一男 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 皆吉 通雄 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 吉川 昇 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 石丸 幸男 (組合事務局長)	宇栄原 政幸 (市議会議員) 神川 和久 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 禰 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 吉川 昇 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 塚本 昭武 (組合事務局長)	古屋 隆敏 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 禰 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 藤田 浩明 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 塚本 昭武 (組合事務局長)	松田 和行 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福岡 達夫 (関西電力労組) 禰 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 藤田 浩明 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長)	湯口 昭夫 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福岡 達夫 (関西電力労組) 禰 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 藤田 浩明 (民生福祉局長) 中川 重幸 (消防局長)	能村 正一 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 浦上 潔一 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福岡 達夫 (関西電力労組) 禰 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 今泉 茂 (民生福祉局長) 今井 健祐 (消防局長)
監 事	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 松田 安輝 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)
顧 問	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
事務局長	喜多 豪	石丸 幸男	石丸 幸男	塚本 昭武	塚本 昭武	塚本 昭武	塚本 昭武	塚本 昭武

1987～1994

通常総代会	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度
	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回	第39回
理事長	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	六島 誠之助 (市長)	六島 誠之助 (市長)	六島 誠之助 (市長)	六島 誠之助 (市長)
専務理事	中嶋 千萬城 (助役)	中嶋 千萬城 (助役)	山本 朗 (助役)	山本 朗 (助役)	中嶋 千萬城 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)
常務理事	三木 宏 (市議会議員)	馬場 武夫 (市議会議員)	石本 晟 (市議会議員)	石本 晟 (市議会議員)	石本 晟 (市議会議員)	小野 清一 (市議会議員)	中川 日出和 (市議会議員)	石本 晟 (市議会議員)
	阪本 義一 (市議会議員)	掛井 正彦 (市議会議員)	馬場 武夫 (市議会議員)	多田 敏治 (市議会議員)	古屋 隆敏 (市議会議員)	三宅 光子 (市議会議員)	中野 清嗣 (市議会議員)	小柳 久嗣 (市議会議員)
	伊達 徳次郎 (小田取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	大下 貫一 (本庁取次所協議会)
	三谷 庄司 (住友金属尼崎労組)	山本 恒雄 (住友金属尼崎労組)	山本 恒雄 (住友金属尼崎労組)	山本 恒雄 (住友金属尼崎労組)	山本 恒雄 (住友金属尼崎労組)	山本 恒雄 (住友金属尼崎労組)	山本 恒雄 (住友金属尼崎労組)	山本 恒雄 (住友金属尼崎労組)
	鳥生 毅 (市民局長)	鳥生 毅 (市民局長)	堀内 弘和 (市民局長)	堀内 弘和 (市民局長)	二越 甫 (市民局長)	石本 操 (市民局長)	石本 操 (市民局長)	石本 操 (市民局長)
	佐竹 三木夫 (事務局常勤)	佐竹 三木夫 (事務局常勤)	山口 和彌 (事務局常勤)	山口 和彌 (事務局常勤)	大西 敏彰 (事務局常勤)	大西 敏彰 (事務局常勤)	松田 英雄 (事務局常勤)	松田 英雄 (事務局常勤)
理 事	小田原 良雄 (市議会議員)	河端 幸子 (市議会議員)	奥村 雅造 (市議会議員)	辻松 利雄 (市議会議員)	中野 清嗣 (市議会議員)	井口 和子 (市議会議員)	谷川 正秀 (市議会議員)	竹原 利光 (市議会議員)
	藤原 軍次 (市議会議員)	伊東 信生 (市議会議員)	伊東 信生 (市議会議員)	流目 寿子 (市議会議員)	片平 康博 (市議会議員)	粕川 順子 (市議会議員)	滝内 はる子 (市議会議員)	畠山 郁朗 (市議会議員)
	大下 貫一 (本庁取次所協議会)	中尾 隆 (小田取次所協議会)	中尾 隆 (小田取次所協議会)	中尾 隆 (小田取次所協議会)	中尾 隆 (小田取次所協議会)	中尾 隆 (小田取次所協議会)	中尾 隆 (小田取次所協議会)	中尾 隆 (小田取次所協議会)
	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)	小坂 貞子 (大庄取次所協議会)
	山中 茂 (立花取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	山中 茂 (立花取次所協議会)	大戸 晶 (立花取次所協議会)	大戸 晶 (立花取次所協議会)	大戸 晶 (立花取次所協議会)	大戸 晶 (立花取次所協議会)	大戸 晶 (立花取次所協議会)
	梅沢 竹松 (園田取次所協議会)	城江 俊一 (園田取次所協議会)	城江 俊一 (園田取次所協議会)	城江 俊一 (園田取次所協議会)	城江 俊一 (園田取次所協議会)	城江 俊一 (園田取次所協議会)	城江 俊一 (園田取次所協議会)	城江 俊一 (園田取次所協議会)
	石井 助一 (武庫取次所協議会)	石井 助一 (武庫取次所協議会)	石井 助一 (武庫取次所協議会)	石井 助一 (武庫取次所協議会)	石井 助一 (武庫取次所協議会)	石井 助一 (武庫取次所協議会)	石井 助一 (武庫取次所協議会)	森松 小太郎 (武庫取次所協議会)
	福岡 達夫 (関西電力労組)	福岡 達夫 (関西電力労組)	福岡 達夫 (関西電力労組)	福岡 達夫 (関西電力労組)	福岡 達夫 (関西電力労組)	竹本 満男 (関西電力労組)	竹本 満男 (関西電力労組)	竹本 満男 (関西電力労組)
	禰 誠四郎 (尼崎市職員労組)	禰 誠四郎 (尼崎市職員労組)	禰 誠四郎 (尼崎市職員労組)	徳田 幸博 (尼崎市職員労組)	徳田 幸博 (尼崎市職員労組)	徳田 幸博 (尼崎市職員労組)	徳田 幸博 (尼崎市職員労組)	徳田 幸博 (尼崎市職員労組)
	山路 鉄男 (大同鋼板労組)	山路 鉄男 (大同鋼板労組)	山路 鉄男 (大同鋼板労組)	山路 鉄男 (大同鋼板労組)	山路 鉄男 (大同鋼板労組)	山路 鉄男 (大同鋼板労組)	山路 鉄男 (大同鋼板労組)	山路 鉄男 (大同鋼板労組)
	藤田 ハルエ (連合婦人会)	藤田 ハルエ (連合婦人会)	藤田 ハルエ (連合婦人会)	今北 初枝 (連合婦人会)	今北 初枝 (連合婦人会)	今北 初枝 (連合婦人会)	今北 初枝 (連合婦人会)	田端 チエ子 (連合婦人会)
	今泉 茂 (民生福祉局長)	徳久 年郎 (民生福祉局長)	徳久 年郎 (民生福祉局長)	増田 忠泰 (民生福祉局長)	増田 忠泰 (民生福祉局長)	松本 博 (民生福祉局長)	松本 博 (民生福祉局長)	堂本 嘉巳 (消防局長)
	今井 健祐 (消防局長)	今井 健祐 (消防局長)	今井 健祐 (消防局長)	大西 敏彰 (消防局長)	堂本 嘉巳 (消防局長)	堂本 嘉巳 (消防局長)	堂本 嘉巳 (消防局長)	福島 輝喜 (学識経験者)
監 事	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)	池田 清一 (商店連盟会長)
	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)	溝口 信次 (消防団長)
	古田 長次 (市監査委員)	幾田 次夫 (※3)	幾田 次夫 (※3)	幾田 次夫 (※3)	幾田 次夫 (※3)	幾田 次夫 (※3)	幾田 次夫 (※3)	幾田 次夫 (※4)
顧問	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
事務局長	塚本 昭武	田中 允之	田中 允之	田中 允之	田中 允之	山路 篤男	山路 篤男	中田 毅

(※3) 尼崎簡易裁判所調停委員

(※4) 尼崎市固定資産評価審査委員

歴代役員一覽

1995～2002

通常総代会	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
	第40回	第41回	第42回	第43回	第44回	第45回	第46回	第47回
理事長	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)
専務理事	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	山田 耕三 (助役)	山田 耕三 (助役)	山田 耕三 (助役)
常務理事	石本 晟 (市議会議員) 瀬井 幸則 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 石本 操 (市民局長) 上杉 浩三 (組合事務局長)	石本 晟 (市議会議員) 丸岡 盛夫 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 石本 操 (市民局長) 上杉 浩三 (組合事務局長)	石本 晟 (市議会議員) 丸岡 盛夫 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 矢富 勝亮 (市民局長) 上杉 浩三 (組合事務局長)	中川 日出和 (市議会議員) 牧田 隆 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組) 西村 孝一 (市民局長) 堂本 嘉巳 (事務局常勤)	中川 日出和 (市議会議員) 米田 守之 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組) 西村 孝一 (市民局長) 堂本 嘉巳 (事務局常勤)	波多 正文 (市議会議員) 小柳 久嗣 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組) 吉井 恵一 (市民局長) 堂本 嘉巳 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 牧田 隆 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組) 吉井 恵一 (市民局長) 堂本 嘉巳 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 杉山 公克 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組) 宮本 勝 (市民局長) 堂本 嘉巳 (事務局常勤)
理 事	田之上 鉄男 (市議会議員) 森 茂子 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) の場 康夫 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 西 政男 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 堂本 嘉巳 (消防局長) 福島 輝喜 (学識経験者)	西中川 憲男 (市議会議員) 丸山 佳伸 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) の場 康夫 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巖 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 堂本 嘉巳 (消防局長) 小川 善次郎 (土木局長)	西中川 憲男 (市議会議員) 丸山 佳伸 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巖 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 堂本 嘉巳 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	下地 光次 (市議会議員) 丸岡 盛夫 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巖 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	安田 雄策 (市議会議員) 竹原 利光 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 小松 多賀子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巖 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	新本 三男 (市議会議員) 竹原 利光 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 國本 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 大島 利夫 (水道労組) 堂園 隆司 (大同鋼板労組) 土井田 巖 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	真鍋 修司 (市議会議員) 丸尾 孝一 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 國本 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 川本 キミ子 (水道労組) 堂園 隆司 (大同鋼板労組) 土井田 巖 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 吉田 茂 (消防局長) 江草 康吉 (土木局長)	小柳 久嗣 (市議会議員) 長崎 寛親 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 國本 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 川本 キミ子 (水道労組) 堂園 隆司 (大同鋼板労組) 土井田 巖 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 吉田 茂 (消防局長) 江草 康吉 (土木局長)
監 事	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (福成会理事長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (福成会理事長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (福成会理事長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (退職者互助会会長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (退職者互助会会長)	溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※5) 山田 義雄 (商店連盟会長)	溝口 信次 (消防団名誉団長) 幾田 次夫 (※5) 山田 義雄 (商店連盟会長)	溝口 信次 (消防団名誉団長) 幾田 次夫 (※5) 山田 義雄 (商店連盟会長)
顧 問								
事務局長	上杉 浩三	上杉 浩三	上杉 浩三	緋田 修三	早川 巖	小田 敏夫	小田 敏夫	小田 敏夫

(※5) 退職者互助会理事長

2003～2010

通常総代会	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	第48回	第49回	第50回	第51回	第52回	第53回	第54回	第55回
理事長	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)
専務理事	山田 耕三 (助役)	江川 隆生 (助役)	江川 隆生 (助役)	江川 隆生 (助役)	江川 隆生 (副市長)	江川 隆生 (副市長)	江川 隆生 (副市長)	江川 隆生 (副市長)
常務理事	寺本 初己 (市議会議員)	寺本 初己 (市議会議員)	安田 雄策 (市議会議員)	亀田 孝幸 (市議会議員)	寺本 初己 (市議会議員)	塚田 晃 (市議会議員)	吉岡 健一郎 (市議会議員)	寺本 初己 (市議会議員)
	亀田 孝幸 (市議会議員)	滝内 はる子 (市議会議員)	寺本 初己 (市議会議員)	寺本 初己 (市議会議員)	高橋 藤樹 (市議会議員)	寺本 初己 (市議会議員)	寺本 初己 (市議会議員)	北村 章治 (市議会議員)
常務理事	公門 将彰 (立花取次所協議会)	公門 将彰 (立花取次所協議会)	公門 将彰 (立花取次所協議会)	公門 将彰 (立花取次所協議会)	公門 将彰 (立花取次所協議会)	公門 将彰 (立花取次所協議会)	公門 将彰 (立花募集人協議会)	公門 将彰 (立花募集人協議会)
	坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組)	坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組)	梅樹 末良 (住友金属尼崎労組)	梅樹 末良 (住友金属尼崎労組)	梅樹 末良 (住友金属尼崎労組)	梅樹 末良 (住友金属尼崎労組)	青雲 啓至 (住友金属尼崎労組)	青雲 啓至 (住友金属尼崎労組)
常務理事	宮本 勝 (市民局長)	宮本 勝 (市民局長)	玉井 啓一 (市民局長)	玉井 啓一 (市民局長)	玉井 啓一 (市民局長)	浅野 悟郎 (環境市民局長)	鶴田 茂 (協働推進局長)	鶴田 茂 (協働推進局長)
	駒澤 明雄 (事務局常勤)	駒澤 明雄 (事務局常勤)	駒澤 明雄 (事務局常勤)	橋本 雅生 (事務局常勤)	橋本 雅生 (事務局常勤)	橋本 雅生 (事務局常勤)	小寺 敬二 (事務局常勤)	小寺 敬二 (事務局常勤)
理 事	平山 丈夫 (市議会議員)	塩見 幸治 (市議会議員)	藤原 軍次 (市議会議員)	宮城 亜幅 (市議会議員)	吉岡 健一郎 (市議会議員)	仙波 幸雄 (市議会議員)	前迫 直美 (市議会議員)	津田 加寿男 (市議会議員)
	長崎 寛親 (市議会議員)	早川 進 (市議会議員)	菅村 哲仁 (市議会議員)	吉岡 健一郎 (市議会議員)	塚田 晃 (市議会議員)	高橋 藤樹 (市議会議員)	高橋 藤樹 (市議会議員)	高濱 黄太 (市議会議員)
	澤井 正和 (本庁取次所協議会)	澤井 正和 (本庁取次所協議会)	澤井 正和 (本庁取次所協議会)	小原 伊乃枝 (本庁取次所協議会)	小原 伊乃枝 (本庁取次所協議会)	小原 伊乃枝 (本庁取次所協議会)	小原 伊乃枝 (本庁募集人協議会)	小原 伊乃枝 (中央募集人協議会)
	駒井 文子 (小田取次所協議会)	駒井 文子 (小田取次所協議会)	駒井 文子 (小田取次所協議会)	駒井 文子 (小田取次所協議会)	駒井 文子 (小田取次所協議会)	望月 敏男 (小田取次所協議会)	望月 敏男 (小田募集人協議会)	望月 敏男 (小田募集人協議会)
	國本 和子 (大庄取次所協議会)	宮崎 和子 (大庄取次所協議会)	宮崎 和子 (大庄取次所協議会)	宮崎 和子 (大庄取次所協議会)	宮崎 和子 (大庄取次所協議会)	加賀 きよみ (大庄取次所協議会)	加賀 きよみ (大庄募集人協議会)	加賀 きよみ (大庄募集人協議会)
	橋本 延治 (園田取次所協議会)	橋本 延治 (園田取次所協議会)	橋本 延治 (園田取次所協議会)	橋本 延治 (園田取次所協議会)	橋本 延治 (園田取次所協議会)	橋本 延治 (園田取次所協議会)	橋本 延治 (園田募集人協議会)	橋本 延治 (園田募集人協議会)
	森松 小太郎 (武庫取次所協議会)	岩田 千代 (武庫取次所協議会)	岩田 千代 (武庫取次所協議会)	岩田 千代 (武庫取次所協議会)	岩田 千代 (武庫取次所協議会)	岩田 千代 (武庫取次所協議会)	岩田 千代 (武庫募集人協議会)	岩田 千代 (武庫募集人協議会)
	八木 光子 (※6)	八木 光子 (※6)	八木 光子 (※6)	八木 光子 (※6)	八木 光子 (※6)	八木 光子 (※6)	八木 光子 (※6)	八木 光子 (※6)
	堂園 隆司 (日鉄鋼板労組)	堂園 隆司 (日鉄鋼板労組)	堂園 隆司 (日鉄鋼板労組)	堂園 隆司 (日鉄鋼板労組)	堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組)	堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組)	堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組)	堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組)
	土井田 巖 (交通労組)	山本 保美 (交通労組)	山本 保美 (交通労組)	山本 保美 (交通労組)	山田 康信 (交通労組)	山田 康信 (交通労組)	山本 保美 (交通労組)	高寺 俊也 (交通労組)
	田端 チエ子 (連合婦人会)	田端 チエ子 (連合婦人会)	田端 チエ子 (連合婦人会)	田端 チエ子 (連合婦人会)	田端 チエ子 (連合婦人会)	田端 チエ子 (連合婦人会)	野村 カヤ子 (連合婦人会)	野村 カヤ子 (連合婦人会)
	吉田 茂 (消防局長)	橋本 雅生 (消防局長)	橋本 雅生 (消防局長)	吉田 寛 (消防局長)	吉田 寛 (消防局長)	吉田 寛 (消防局長)	吉田 寛 (消防局長)	野草 信次 (消防局長)
	堂本 嘉巳 (FMあまがさき)	中村 正典 (組合事務局長)	中村 義人 (組合事務局長)	中村 義人 (組合事務局長)	中村 義人 (組合事務局長)	大戸 敏之 (組合事務局長)		
監 事	幾田 次夫 (※5)	幾田 次夫 (※5)	幾田 次夫 (※5)	幾田 次夫 (※5)	幾田 次夫 (※5)	幾田 次夫 (退職者互助会顧問)	幾田 次夫 (退職者互助会顧問)	井内 進 (消防団長)
	山田 義雄 (商店連盟会長)	山田 義雄 (商店連盟会長)	山田 義雄 (商店連盟会長)	山田 義雄 (商店連盟会長)	山田 義雄 (商店連盟会長)	山田 義雄 (商店連盟顧問)	山田 義雄 (商店連盟顧問)	小畑 敬重 (不動産鑑定士)
	生越 敏雄 (消防団長)	生越 敏雄 (消防団長)	生越 敏雄 (消防団長)	生越 敏雄 (消防団長)	生越 敏雄 (消防団長)	生越 敏雄 (消防団長)	生越 敏雄 (消防団長)	
顧問								
事務局長	中村 正典	中村 正典	中村 義人	中村 義人	中村 義人	大戸 敏之	大戸 敏之	大戸 敏之

(※5) 退職者互助会理事長

(※6) 大西東福祉協会親和会

歴代役員一覧

2011～2017

通常総代会	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	第56回	第57回	第58回	第59回	第60回	第61回	第62回
理事長	稲村 和美 (市長)	稲村 和美 (市長)	稲村 和美 (市長)	稲村 和美 (市長)	稲村 和美 (市長)	本田 良生	本田 良生
専務理事	江川 隆生 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	中川 一 (市民協働局長)	中川 一 (市民協働局長)
常務理事	寺本 初己 (市議会議員) 福島 さとり (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (住友金属尼崎労組) 中浦 法善 (協働推進局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 開 康生 (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (住友金属尼崎労組) 中浦 法善 (市民協働局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 杉山 公克 (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※7) 中浦 法善 (市民協働局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 眞田 泰秀 (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※7) 中浦 法善 (市民協働局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 前迫 直美 (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※7) 中浦 法善 (市民協働局長) 本田 良生 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 北村 竹師 (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※7) 上田 広且 (組合事務局長)	津田 加寿男 (市議会議員) 前迫 直美 (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※7) 上田 広且 (組合事務局長)
理 事	津田 加寿男 (市議会議員) 高濱 黄太 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 八木 光子 (※6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼鉄労組) 高寺 俊也 (交通労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 野草 信次 (消防局長)	丸岡 鉄也 (市議会議員) 高濱 黄太 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 八木 光子 (※6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼鉄労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 本田 良生 (消防局長)	小柳 久嗣 (市議会議員) 高濱 黄太 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 八木 光子 (※6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼鉄労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 本田 良生 (消防局長)	弘中 信正 (市議会議員) 宮城 亜幅 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼鉄労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 本田 良生 (消防局長)	徳田 稔 (市議会議員) 北村 竹師 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼鉄労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 河本 博志 (消防局長)	土岐 良二 (市議会議員) 徳田 稔 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 中井 敏子 (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼鉄労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 河本 博志 (消防局長)	北村 竹師 (市議会議員) 久保 高章 (市議会議員) 佐久間 路子 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 中井 敏子 (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼鉄労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 河本 博志 (消防局長)
監 事	井内 進 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	井内 進 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)
顧 問						稲村 和美 (市長) 村山 保夫 (副市長)	稲村 和美 (市長) 森山 敏夫 (副市長)
事務局長	大戸 敏之	上田 広且	上田 広且	上田 広且	上田 広且	上田 広且	上田 広且

(※6) 大西東福祉協会親和会

(※7) 新日鐵住金尼崎労組

(※8) 2016年から理事長事務局常勤

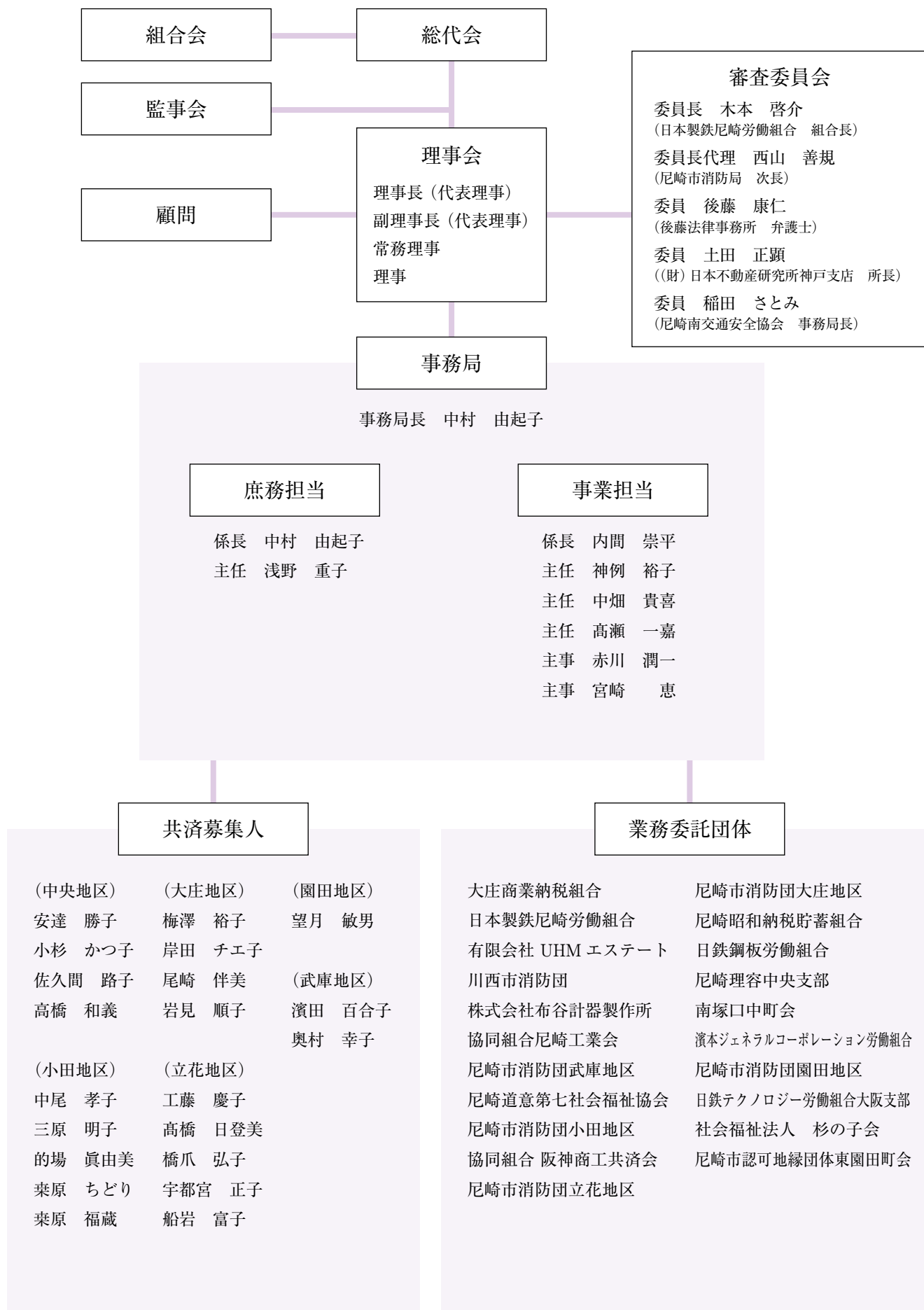
2018～2025

通常総代会	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回	第69回	第70回
理事長	本田 良生	本田 良生	河本 博志	河本 博志	河本 博志	河本 博志	赤川 孝平	赤川 孝平
副理事長	福井 進 (市民協働局長)	河本 博志	土元 英樹 (総務局長)	土元 英樹 (総務局長)	土元 英樹 (総務局長)	土元 英樹 (総務局長)	松長 寿枝 (総務局長)	松長 寿枝 (総務局長)
常務理事	公門 將彰 (立花募集人協議会) 木本 啓介 (※7) 上田 広且 (組合事務局長)	公門 將彰 (立花募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組) 上田 広且 (組合事務局長)	望月 敏男 (小田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 荒木 泰則 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 荒木 泰則 (日本製鉄尼崎労組)
理 事	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 中井 敏子 (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 河本 博志 (消防局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 中井 敏子 (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 芝軒 崇晃 (総務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 濱田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 濱田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 濱田 百合子 (武庫募集人協議会) 小山 覚之 (消防局長) 赤川 孝平 (消防局参与) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 濱田 百合子 (武庫募集人協議会) 小山 覚之 (消防局長) 赤川 孝平 (消防局参与) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 濱田 百合子 (武庫募集人協議会) 小山 覚之 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 濱田 百合子 (武庫募集人協議会) 田中 和弘 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)
監 事	島田 幸司 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	上岡 良照 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)	上岡 良照 (消防団長) 小畑 敬重 (不動産鑑定士)
顧 問	稲村 和美 (市長) 森山 敏夫 (副市長)	稲村 和美 (市長)	稲村 和美 (市長)	稲村 和美 (市長)	稲村 和美 (市長)	松本 眞 (市長)	松本 眞 (市長)	松本 眞 (市長)
事務局長	上田 広且	上田 広且	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子

(※7) 新日鐵住金尼崎労組

(※8) 2016年から理事長事務局常勤

組織図





沿革

70th
Anniversary

1 尼崎市民共済の誕生

高度経済成長期に入った昭和30年、当時は住宅が不足しているうえに、火災発生リスクは非常に高く、一瞬にして建物、家財を失う悲惨な状況でした。当組合の誕生は、「自分の力では防ぎきれない災害に遭ったとき直ちに救われる道を平素から考えておくことが大切だ。」とされたことから始まります。そこで、戦後まもなく制定された消費生活協同組合法（以下「生協法」という。）を活用し、自分たちの協同組合を結成することで、協同の組織により相互扶助の精神に則りできるだけ安い掛金で共済し合うことが最も安全で近代的であると考え、尼崎市が中心となり市議会議員、商工会議所議員、地元有識者60人などの発起により発足し、昭和30年12月20日、創立総会を開催しました。

これに大きく関わった人物に、当時の尼崎市顧問でもありました賀川豊彦氏の存在があります。賀川氏は、当時の尼崎市長薄井一哉氏に市独自の財源として生命・火災保険の運営を強く進言していました。そこで、尼崎市では、賀川氏の発案により全国初の試みとして生協法による生命・火災

保険事業を行うことにより、この利益金で6千戸の勤労者の無料アパートを建設する計画を密かにすすめていたようです。この計画については知る由もありませんが、賀川氏が当組合の設立から2年間、当組合の顧問に就任し、共済事業の基礎を作ることにご尽力くださいました。火災共済事業を開始した後に住宅事業に着手したことは、まさしく賀川氏の影響だったのではないかと思います。

火災保険と生活文化の改善向上

市民共済生活協同組合

いよいよ来春発足

市民の福祉増進のための相互共済事業について常に胸をゆくわが尼崎市は、さきには市民共済、日僱労働者に対する健康保険を奨励して各方面から非常な注目を浴び市民の皆さんから大へん喜ばれている折、この機会に新に、市長、市議会議員、商工会議所議員その他地元の有識者等約六十人の発起をもつて「尼崎市民共済生活協同組合」を設立して明春三月はなほなく発足する運びに同つておきます。

天災は忘れられた時分に来るということも一面真理に近いのでありますが、火災などのいわゆる人災といわれているものは私共の日常生活において一寸しな不注意不用心から起るのであるその被害の甚大などは一瞬にして無一物となつて悲願のどん底に陥落するなど精神的、物質的にも徹底的に打ちのめされるのであります。

こういう不慮の災にそなえて直ちに救われ再起更生をはかる途は唯一私共個人個人の力ではどうすることもできません。これはどうしても互に相互扶助の精神にもとづいて安い額かな財金による協同共済の組織によつて助くより外ありません。この組織によることは最も近代化であり且つ安全願望であると言えます。

この尼崎市民共済生活協同組合は既述はじめて実施された消費生活協同組合法を適用して尼崎全市を一丸とする私達自身の共済協同組合であつて、火災共済の面においては従来の保険よりはおに安い掛金で私共の家や生命財産を護るばかりでなく、さらに連中は相互の生活文化の向上をもはかるなどいろいろの事業をやつていこうとするもので、市民の皆さんの多数の参加を希望しております。この制度の実施は躍進途上の生協工業都市大尼崎の将来は非常に明るいを感ぜるところであります。

『市報あまがさき第125号』（昭和30年11月20日）

(1) 設立発起人会の開催

昭和30年11月8日、設立発起人57人出席のもと設立発起人会が開催され、設立趣意書が制定されました。

< 設立発起人 >									
明田 謙二	秋田 茂綱	碓 音吉	池田 清一	池田 徳誠	岩井 よね	泉 湧二	薄井 一哉		
瓜生ヨシノ	大石 忠一	大塚 俊実	奥田満太郎	開田長太郎	垣岡喜代一	梶本 正	加藤 みつ		
加茂 鶴一	河合 陽雄	河本 秀夫	岸 浩	日下 梅吉	鴻池 勝治	小西 学	小村 一郎		
阪本仁三郎	佐藤 俊夫	篠田 隆義	松竹 友吉	白石 市郎	白髪信次郎	高石 進	高寺 保美		
高岡 達雄	田中 永壽	田中 正雄	玉井栄太郎	滝下 幸男	土田 有間	塚原 輝道	寺井弥三市		
寺澤 末義	土井 由松	栃尾 喜一	中田 差輔	中田 寅一	中西 勘次	中林 英夫	中村 千世		
西田 弘	西村 亀	沼里 定吉	根塚 繁夫	野草平十郎	橋村 熊吉	橋本正三郎	羽田伊太郎		
羽藤 一夫	林 はる	原田 鷹市	原田 永信	日高 重義	平松 友三	福田 弥平	藤枝清太郎		
藤本 義秋	前田空之助	收 達夫	松井よしゑ	松田 安輝	松永 義雄	松浦 一馬	松本松太郎		
三木久次郎	溝口 信次	宮本 清一	村上 一	森 豊子	安田栄太郎	柳田 郷務	山下 幾平		
山下 栄二	山原 正一	横山 栄藏	吉村 望	鷲尾 栄次					

尼崎市民共済生活協同組合設立趣意書

私達の社会生活には常に思わぬ災厄の伴うものでありますが、ゆえに火災によつて一瞬にして家や家財を失ふこと程悲惨なことはありません。私達はこの災厄よりのかへるために火の用心は細心の注意を払つてゐるのですが、自今力では防ぎきれない類焼による災難のあることを心に留めておかなければなりません。

万一私達が不幸にして不慮の火災にあつた時は、直ちに救われる途を平素より考へておくことが何より大切であることは改めて申し上げるまでもありません。個人の力では防ぎきれない災厄でも共同の組織により相互扶助の精神に則りてよりなけり共済金で共済しあふことが最も安全且最も近代的であると考へます。

それは戦後新しく施行せられたる消費生活協同組合法を活用して尼崎市内在一月とする私達自身の共済協同組合を組織して、組合が行う共済事業により在米の保険料より遙かに安ら共済金で災厄による危険から私達の家、家財を身より更に進んで組合員相互の生活文化の向上をも図るに色々な事業をやつて行かうとすものであると考へます。

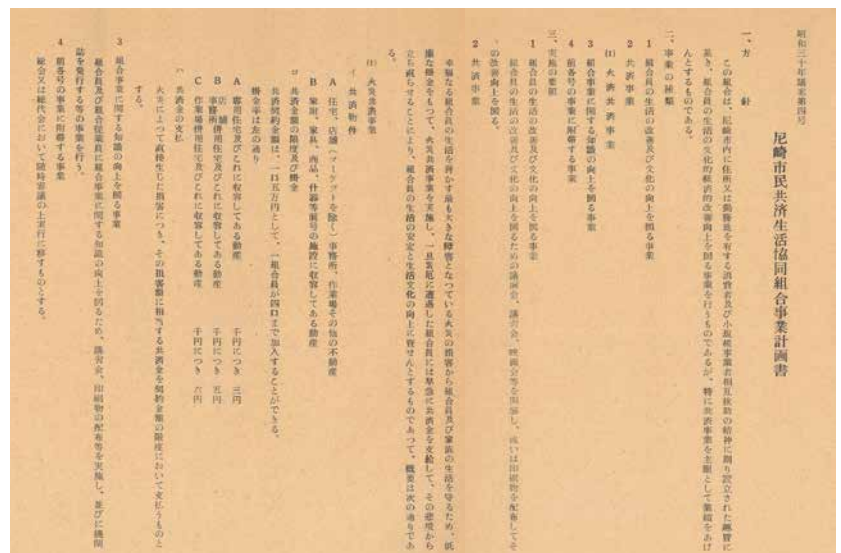
以上を以て趣意は御賛同の上、奮つて組合設立に御参加を願ひ致します。

昭和三十一年十一月八日
組合設立発起人

設立趣意書（昭和30年11月8日）

(2) 創立総会

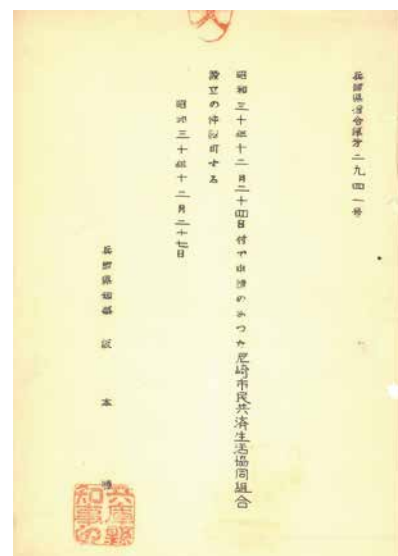
昭和30年12月20日、尼崎市文化会館において創立総会が開催されました。創立賛成者1,161人のうち、当日出席者は266人、委任状による出席者は453人となり、定款の制定、役員選挙、共済事業規約、事業計画書等の議案について審議が行われ、すべて原案どおり承認可決されました。



事業計画書（昭和30年12月）

(3) 設立認可

昭和30年12月24日兵庫県知事あて設立認可申請を行い、昭和30年12月27日設立を認可されました。



設立許可書（昭和30年12月27日）

(4) 設立登記

昭和31年1月21日神戸地方法務局に設立登記の申請を行い、同日完了しました。

2 火災共済事業の開始

昭和31年2月1日、事務所を尼崎市役所保険課内に置き、尼崎市を事業区域として、火災共済事業がスタートしました。

募集主体を社会福祉協議会、各労働組合、市民保険組合としたことは、全国で初めてで、これには厚生省（現厚生労働省）が注目していました。初年度1万人を加入目標に火災共済の一斉募集が開始され、わずか1ヵ月間で1万4千人（世帯）の組合加入があり、この好成績に発起人のみならず厚生省並びに県当局者も驚きと喜びを隠せませんでした。

※一斉募集の主な協力団体は、25ページに記載しています。



昭和31年2月 尼崎市の広報車に横断幕を掲げ、火災共済の一斉募集が開始されました。（あまがさきアーカイブズ提供）



取次店の看板を掲げた家
（昭和43年3月 あまがさきアーカイブズ提供）

昭和39年4月 市内の6地区（本庁・小田・大庄・立花・武庫・園田）に共済契約事務取次所（現 共済募集人）が設置され、地域に根差した取組みの環境が整いました。

組合員の自宅を訪問し、掛金の集金をする取次所には、目印となるような看板が掲げられました。取次所は、親から子へと、また共済契約も親から子へと受け継がれ、近所の「共済さん」として親しみと信頼を得ました。

ピーク時には100ヶ所を超える取次所がありました。

※火災共済付帯保険の取扱い開始

平成23年10月1日、火災共済では保障することができない他人への賠償責任を補償する、全国共済生活協同組合連合会が取扱う借家人賠償責任保険の取扱いを開始

しました。続いて平成29年9月15日、類焼損害費用保険、個人賠償責任保険を追加しました。

3 住宅事業の開始

昭和37年度から住宅事業にも乗り出しました。共済組合が住宅事業に携わることも、全国初の試みでした。

昭和30年代後半、住宅が不足し市民の住宅事情が非常に劣悪であったことから、尼崎市の住宅施策、公営住宅供給の補足的な役割を果たすため、尼崎市より無償で敷地が提供され、年金福祉事業団の融資及び銀行等からの借入金により鉄筋コンクリート5階建住宅が建設されました。

まずは、昭和38年10月にガス風呂・水洗トイレ・バルコニー付き2DK48.82㎡の1棟30戸が完成しました。入居条件は、組合員であること、厚生年金保険の被保険者であること、収入月額が平均41,000円以上であること、入居家族が2人から5人であることとされました。これには申込みが殺到し、抽選により入居者を決定していました。

昭和41年7月までに3DK57.28㎡も加わり、全5棟総戸

住宅建設に乗出す
尼崎市民共済生協組
尼崎市民共済生活協同組合（理事長 長瀬井市長）では、三十七年度から新しい事業として住宅建設を計画、近く同組合の規約を改正する。市の同年度の住宅建設は鉄筋建七十二戸と未造二十戸の分譲住宅だけで、多くの事業をかかえて住宅建設に手が回らないのでこれを側面的に助けようというもの。同組合では厚生省の融資を受けて、鉄筋戸を建設、二万八千組合員の希望に貸す予定である。

『朝日新聞』（昭和37年3月9日 阪神版）

数150戸と集会室1棟が建設され「生協住宅富松団地」が完成しました。

残念ながら平成20年の生協法の改正により富松団地は平成25年3月31日に尼崎市に譲渡し、住宅事業は廃止されました。その後10年間の退去猶予期間を経て、令和5年3月31日に富松団地は閉鎖されました。



富松団地（昭和60年2月 あまがさきアーカイブズ提供）



富松団地（昭和63年2月 あまがさきアーカイブズ提供）



競争率一九・五倍
共済生協 富松団地入居申し込み
尼崎市民共済生活協同組合の富松団地（東富松押櫃）入居者募集は二十日締め切られたが、鉄筋コンクリート五階建て、四十戸に
対して申し込みは七百七十九人で
十九・五倍の競争率。二十五日午前
十時、市役所七階会議室で抽
選、七月中旬入居の予定。

『読売新聞』
（昭和41年4月24日 尼崎版）



4 交通等傷害共済事業の開始

昭和40年代になると、火災事故や交通事故による死傷者が増加するようになりましたが、保険金や賠償金の請求は保険金がすぐに支払われませんでした。そこで当組合は「安い掛金」、「早い支払い」をキーワードに、昭和42年4月1日、交通事故と火災事故によるケガを保障する交通等傷害共済をスタートさせました。

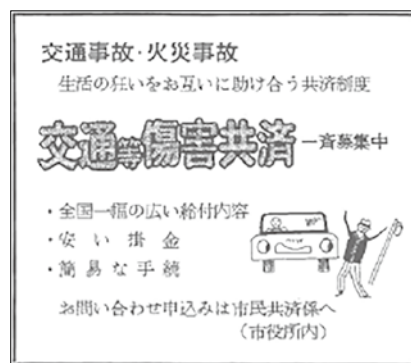
初年度は14,193人の加入があり、昭和49年7月から昭和52年3月までは、高齢者と心身障害者の方に、市が掛金の一部を助成していました。

平坦な尼崎市内においては、自

転車が市民の足となっていたことや加入に年齢制限がないことで、昭和60年には加入者が5万3千人を超えました。これは当時の市の人口の10%にあたりました。また、この年に4人以上の家族全員が加入すると掛金を割引く「家族パック」が導入されました。



『市報あまがさき第398号』(昭和42年4月5日)



5 受託共済事業の開始

平成11年4月1日、かねてより多数の要望があった生命、病気への保障のニーズに応えるべく、日本生活協同組合連合会(現 日本コープ共済生活協同組合連合会)のCO・OP共済「たすけあい」(総合医療共済)の取扱いを開始しました。取次所(現 共済募集人)の積極的な呼びかけにより、初年度1,045人、2年目2,414人、3年目2,731人と

順調に加入者数を伸ばしていき、平成19年には取扱い以来最多の4,266件の加入がありました。その後CO・OP共済「あいぶらす」(定期生命共済)、CO・OP共済「ずっとあい」(終身共済)、「CO・OP学生総合共済」の取扱いを追加しました。

6 保険代理事業の開始

(1) 共栄火災海上保険株式会社

①個人用火災総合保険の取扱い開始

平成30年9月4日に台風21号が阪神間を通過し尼崎市にも多大な被害が発生しました。これを皮切りに組合員より多数の要望があった自然災害を補償する商品の取扱いの検討を始めました。令和2年10月1日、個人用火災総合保険(安心あっとホーム)の取扱いを開始しました。

②交通事故傷害保険の取扱い開始

交通等傷害共済の加入者にも賠償責任を担保する保険に加入できるよう、令和3年10月1日、交通等傷害共済に賠償責任補償特約付交通事故傷害保険を組み合わせ、通称名「交通等傷害共済あんしんセット」の取扱いを開始しました。令和5年から2年間尼崎市全域に加入キャンペーンを実施し令和6年度末の加入者数は919人となりました。

(2) 三井住友海上火災保険株式会社

令和7年11月1日、がん、急性心筋梗塞、脳卒中に備える「コープの三大疾病保険」の取扱いを開始しました。

一斉募集時の協力団体（名称は当時の記載情報から引用 50音順）

旭勤労者生活協同組合
尼崎菓子工業組合
尼崎北警察署
尼崎公共職業安定所
尼崎市交通局
尼崎市潮江市民保険組合
尼崎市消防職員共助会
尼崎市職員組合
尼崎親和市民保険組合
尼崎製鉄
尼崎東警察署
尼崎連合美容部会
尼商市民保険組合
市立尼崎高校
株式会社尼崎製釘所労働組合
紙文具市民保険組合
川上塗料株式会社
関西電力労働組合尼崎支部

関西電力労働組合兵庫火力支部
神田中央市民保険組合
関労尼二支部分会
関労尼崎第一発電所支部
木村鉛鐵機械工業所
久保田武庫川機械労働組合
市民保険養寿会
白石工業株式会社尼崎工場
新尼崎生活協同組合
神鋼鋼線鋼索労働組合
住友鋼管労働組合
全金日本研磨機支部
全国金属労働組合東洋精機支部
全日通労働組合尼崎港分会
大同鋼板労働組合
大日纖維工業労働組合
大日電線本社労働組合
大日本セルロイド神崎工場労働組合

竹谷なでしこ会
坪和市民保険組合
帝国酸素株式会社尼崎工場共済会
帝国酸素労働組合尼崎支部
出屋敷駅前商店組合
出屋敷商店街市民保険組合
ナニワ工機労働組合
日亜鋼業労働組合
日亜製鋼尼崎工場労働組合
日本硝子尼崎支部
日本スピンドル労働組合
阪神商工共済会
東町市民保険組合
道意保険組合
三菱電線株式会社伊丹製作所
森永製菓

当初の申込書等

[illegible]

当初の組合加入及び共済契約申込書

No. **706399** **組 合 員 証**

尼崎市 **神田中道** 殿

御加入	昭和33年8月30日	日
出 資	1 口、金	50 円 也

昭和**33**年**9**月**1**日 発行
 尼崎市民共済生活協同組合

理事長 **薄 井 一 哉**

(印) 此の証は、枚通の郵上の出資金払戻の証郵便書となりますから、大切に保管して下さい。

(組合 → 組合員)

当初の組合員証

[illegible]

当初の共済契約引受証

70年のあゆみ

昭和		概要
23年	7月30日	<p>消費生活協同組合法が制定される。 (昭和23年7月30日法律第200号)</p> <p>国民の自発的な生活協同組織の発達を図り、 もって国民生活の安定と生活文化の向上を 期することに関する法律</p> <p>(昭和23年10月1日施行)</p>  <p>生協法の施行を知らせる厚生省のポスター(1948年) (日本生協連資料室提供)</p>
30年	11月8日	組合設立発起人会を開催
	12月20日	<p>組合創立総会を開催 初代理事長 薄井一哉(尼崎市長) 常務理事4人、理事10人、監事3人、 顧問2人 (役員定数 理事15人以内、監事3人以内)</p> <p>主たる事務所 尼崎市北城内47番地 (尼崎市役所保険課内)</p> <p>従たる事務所 尼崎市長洲中通1-1 尼崎市西字口ノ開159番地 尼崎市栗山字松本104 尼崎市東武庫字北畑223番地 尼崎市口田中167番地</p>  <p>市役所市長室に賀川氏を迎える (昭和33年12月 あまがさきアーカイブズ提供) 左から2人目 篠田隆義 助役 中央 薄井一哉 市長 右から2人目 賀川豊彦 顧問</p>  <p>昭和32年当時の市役所(あまがさきアーカイブズ提供)</p>
	12月27日	<p>県知事より「尼崎市民共済生活協同組合」の 設立を認可される。</p>
31年	1月21日	<p>組合設立の登記完了 出資口数1,000口、出資金額50,000円</p>
	2月1日	<p>火災共済事業開始(契約限度額20万円) 市内各町会、消防団、婦人会、労働組合等 の協力により契約の一斉募集開始</p> <p>『市報あまがさき第129号』 (昭和31年1月20日)</p>  <p>市の保証する 市民の共済組合誕生</p>

27

70年のあゆみ




昭和		概要
32年	5月28日	<p>火災共済 付加給付金制度を創設（契約者死亡の際5,000円＋掛金累計を支給）</p> <div> <p>『市報あまがさき第162号』 （昭和32年6月5日）</p> <p>掛金＋5000円＝死亡給付金 火災共済の新しい制度</p> <p>尼崎市民共済生活 共同組合（理事長 薄井市長）ではこ ろ金で初めて の試みとして付加 給付金の規定を設 けて直ちに実施す ることになりました 。これは火災共 済契約を引換いて 二年以上契約して いる組合員が死亡 した場合には、こ れまで払い込ん だ二年分の掛金へ 五千円を加えた額 が付加給付金（二 年分の掛金が返 してもらえ、それ に五千円を加え るの意）として遺 族に支払われるこ とになったもので 、同事業が健全な 発展を遂げること 共にこの画期的な 試みは各方面から 大へん注目されて います。</p> </div>
34年	1月1日	火災共済 限度額を40万円に引き上げ、掛金を平均15%引き下げる。
35年	5月24日	火災共済 付加給付金制度を改正（契約者死亡の際1,000円を支給）
37年	1月1日	火災共済 限度額を100万円に引き上げ、掛金を平均13%引き下げる。 付加給付金制度を廃止
	6月15日	昭和37年度決算により、利用分量割戻しと組合資本の充実を期するよう総代会において決議される。
	10月15日	<p>事務所移転 住所 尼崎市東七松町1 （現尼崎市役所内）</p> <div> <p>『市報あまがさき第290号』 （昭和37年10月5日）</p>  <p>昭和37年10月8日</p> <p>新市庁舎落成 秋空に浮かぶサービスセンター</p> </div>
38年	5月	<p>生協住宅富松団地第1期工事着工、 10月2DK型住宅30戸完成</p> <div>  <p>現在の富松団地（令和7年4月17日撮影）</p> <div> <p>富松団地入居者募集 市民共済生協住宅 尼崎市民共済生活協同組合は、 東富松字押櫃一九二に、鉄筋コン クリート造5階建の住宅（6世帯、 45畳、合所兼食堂、ガス風呂、パ ルコート、一戸当り四十八・八二 平方尺）を建てました。公簿戸数 は30戸、家賃は1・4階月給七 千五百円、五階七千三百五十円。 申し込み用紙は10月7日から10 月11日まで（ただし8日を除く） 市役所と各支所で配布し、10月15 日から10月17日まで市役所本庁で 申し込みを受け付けます。抽選は、 10月21日。 申し込み資格は、市内に住所が 勤務先があり、厚生年金保険の被 保険者であること、2人以上5人 以内の入居家族があり、平均月収 四万二千円以上あることになって います。入居予定は11月下旬、く わしいことは、市役所内市民共済 係へ。</p> <p>『市報あまがさき第313号』（昭和38年9月30日）</p> <div> <p>尼崎に共済住宅30戸 尼崎市民共済生活協同組合では、は じめに厚生年金の還元融資三千二 百万円を受けて、同市東富松に鉄 筋5階建三千戸の共済住宅を建て る。四月末に着工、十月完成する が、一戸四十八・五平方尺、厚生 年金保険の加入者に入居資格があ る。なお、引続いて百二十戸分を 建てたいと申請している。</p> <p>『朝日新聞』（昭和38年4月13日 阪神版）</p> </div> </div> </div>

昭和		概要
38年	7月1日	火災共済 剰余金処分として、利用分量割戻しを始める。(契約1口につき25円の出資充当)
	10月	生協住宅富松団地第2期工事着工、翌年5月2DK型住宅40戸完成
39年	4月1日	火災共済 全国共済生活協同組合連合会(以下「全共連」という。)と再共済の授受に関する基本契約締結 出再率10%
	4月1日	各地区(本庁、小田、大庄、立花、武庫、園田地区)に共済契約事務取次所を新設
		<div data-bbox="311 712 922 1014"> <p>二十日から受付け 市民共済住宅の申込み</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合の富松団地第二期住宅が近く完成するので、二十日から三日間、同市役所七階の同協組事務局で入居申込みを受付ける。</p> <p>鉄筋コンクリート五階建、四十戸。六畳、四・五畳、台所兼食堂の各室とガスぶろつき。家賃は一四階が八千円、五階七千八百五十円で、敷金として家賃の六カ月分がある。市内在住、在勤者で、厚生年金の被保険者、平均月収が四万五千円以上というのが入居者の資格。</p> <p>なお、入居申込み用紙は十一日から十六日まで同協組事務局で渡す。</p> </div> <div data-bbox="437 1014 788 1043">『朝日新聞』(昭和39年5月2日 尼崎版)</div> <div data-bbox="941 712 1165 1066"> <p>十四倍の競争 共済生協住宅の申込み</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合の富松団地第二期住宅の申込みは、二十四日、二十四日の競争率が高かった。同市役所七階の同協組事務局で入居申込みを受付ける。二十日から三日間、同市役所七階の同協組事務局で入居申込みを受付ける。</p> </div> <div data-bbox="1000 1070 1107 1097">『朝日新聞』</div> <div data-bbox="927 1095 1117 1124">(昭和39年5月23日 尼崎版)</div> <div data-bbox="1184 712 1447 1066"> <p>共済生協住宅 の入居者決まる</p> <p>市民共済生活協同組合の富松団地第二期住宅の入居者決定が、二十四日、二十四日の競争率が高かった。同市役所七階の同協組事務局で入居申込みを受付ける。二十日から三日間、同市役所七階の同協組事務局で入居申込みを受付ける。</p> </div> <div data-bbox="1259 1070 1372 1097">『朝日新聞』</div> <div data-bbox="1179 1095 1452 1124">(昭和39年5月26日 尼崎版)</div>
40年	5月20日	生協住宅富松団地第3期工事着工、12月3DK型住宅40戸完成
		<div data-bbox="769 1288 1447 1626"> <p>一むねを年内に建設 市民共済生活協同組合の鉄筋住宅</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合(理事長薄井市長)に、このほど年金福祉事業団から三十九年度分住宅融資四千六百四十万円の決定通知が届いた。</p> <p>同協組では借入金など合わせ総額六千万円で、同市東富松押櫃(おしびつ)に、五階建一むね四十戸の鉄筋住宅を年内に完成する。</p> <p>なお、東富松押櫃には、すでに同協組のアパート二むね七十戸が建てられているが、これまではいずれも二部屋と台所だけだが、こゝし建つ分は三部屋と台所である。</p> </div> <div data-bbox="499 1429 754 1482">『朝日新聞』 (昭和40年1月23日 尼崎版)</div> <div data-bbox="239 1749 1173 2000"> <p>来月に受付け 市民共済生活協同組合の住宅四十戸</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合(理事長薄井市長)は、同市東富松押櫃に建てていた鉄筋コンクリートづくり五階建、四十戸の住宅が近く完成するので、十一月八日から十日まで、市役所七階の市民共済事務局で入居者の申込みを受付ける。</p> <p>一戸につき六畳二間と四畳半の居間、台所兼食堂(約五畳)それにガスフロア、水洗便所、バルコニーなどついて五七・二八平方メートルの広さ。家賃は一四階が月二万二千円、五階が一萬一千八百円。敷金は家賃月額の六カ月分となっている。</p> <p>申込資格は①尼崎市内に住所または勤務先があり、住宅に困っている②厚生年金保険の被保険者③二人以上の家族で平均月収が六万円以上などの条件をそなえているもの。十一月十二日午前十時から市役所で抽選があり、当選者は十二月中旬から来年一月中旬までの間に入居できる予定。</p> </div> <div data-bbox="1184 1843 1463 1899">『朝日新聞』 (昭和40年10月13日 尼崎版)</div>

昭 和		概 要	
40年	11月	生協住宅富松団地第4期工事着工、翌年7月2DK型住宅40戸完成 ※生協住宅富松団地建設工事完了（鉄筋5階建5棟150戸 総工費2億2,800万円）	
41年	7月11日	理事定数の改正20人（改正前15人以内）	
42年	4月1日	交通等傷害共済事業開始（死亡50万円） 掛金1人600円、2人以上は1人500円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">四月からスタート 交通等傷害共済</p> <p>尼崎市民生生活協同組合は市 三月以上の傷害 五万〇一ヶ 月の火災共済（物損）を本業とし 月以上二万四〇一週間に五半 て長年優秀な成績をあげています。 円。 が、この交通等傷害共済（交 ○共済掛金（年間）（尼崎市民・ 退・火災）事業を開始することにな り、四月一日から実施し死傷者に 対する共済します。</p> <p>最近の交通事故や火災事故によ る死者約三万人、重傷者は約一 千人に達しています。これは、五 百〇〇人の加入で一人につき五 十円の加入料で加入（加入）し ている場合と同様に世帯で五人以 上加入する場合（同一事業等で五 人以上加入する場合（加入加） の交通等傷害共済は強制保険と して加入する場合があります。） や賠償金の請求のようになり得るか らです。すぐ支払われます。くわ しいことは市役所内・市営共済保 険（八二二番）内電話一九・ 四一〇へお問い合わせくださ い。</p> </div> <p style="text-align: right;">『市報あまがさき395号』 （昭和42年2月20日）</p>
	4月1日	火災共済 全共連出再率30%に引き上げる。（20%引上げ）	
	11月1日	厚生大臣より優秀生協表彰（全国1,205生協中2組合）を受ける。	
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">市民共済が受賞 尼崎市 民生生活協同組合は、十一月一日に全国 千二百の組合から選ばれて北海道 の新潟内産生協と共に、厚生大 臣表彰を受けました。市民共済は 昭和三十三年に設立され、組合員四 万、火災共済と交通等傷害共済を行 なっています。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> <p>表 彰 状</p> <p>尼崎市民生活協同組合殿 貴組合は組合員の生活文化 の向上に努めると共に我が 国における消費生活協同組 合の発展に多大の貢献をさ れました よってこれを表彰します 昭和四十一年十一月一日 厚生大臣 坊 秀男</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">『市報あまがさき第412号』 （昭和42年11月5日）</p>	
43年	4月1日	火災共済 全共連出再率50%に引き上げる。（20%引上げ）	
44年	1月1日	火災共済 契約限度額を200万円に引き上げ、掛金を平均7.2%引下げる。	
	12月	火災共済 掛金の課税所得控除対象として大蔵大臣の指定を受ける。	
45年	5月21日	事務所移転 尼崎市昭和通2丁目48番地の3（尼崎市消防署内）	
		 <p style="text-align: center;">尼崎消防署庁舎（昭和58年4月 あまがさきアーカイブズ提供）</p>	
46年	2月1日	火災共済 掛金を平均14.2%引き下げる。	

31

70年のあゆみ

昭 和		概 要
49年	7月1日	<p>交通等傷害共済 掛金の一部を市が助成する。 (対象 老人・心身障害者) →昭和52年3月31日 助成廃止</p> <p>『市報あまがさき第571号』 (昭和49年6月20日)</p> 
50年	5月30日	<p>組合創立20周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈 表彰者：総代7人、役員2人、取次所97人、団体39ヶ所</p>
	7月1日	火災共済 契約限度額を700万円に引き上げる。
51年	8月1日	<p>契約事務処理機（オリベッティ社製）導入</p>  <p>昭和51年9月 あまがさきアーカイブズ提供</p>
52年	1月1日	火災共済 物件別契約限度額を引き上げる。
	4月1日	契約事務処理機による処理開始
	4月1日	<p>尼崎市武庫社会福祉連合協議会と共済契約事務委託契約締結 昭和51年12月16日より事務取扱実施（昭和63年ごろ契約解除）</p>
	7月1日	火災共済 契約者の負担軽減のため、利用分量割戻し方法として掛金充当を実施
	12月28日	<p>市消防施設充実強化の協力に対し、 内閣総理大臣より紺綬褒章を受ける。</p> <p>紺綬褒章とは、1918年（大正7年）に創設された国の褒章制度の一つで、公益のために私財を寄付された方（個人及び団体）へ授与される褒章</p> 

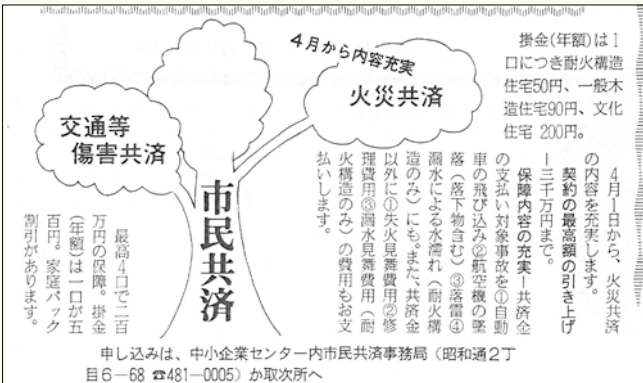
昭和	概要
<p>53年 11月1日</p>	<p>火災共済 契約限度額を1,000万円に引き上げる。</p> <p>『市報あまがさき第675号』 (昭和53年10月20日)</p> 
<p>54年 4月10日</p>	<p>正規職員の採用開始（1名採用） (市派遣職員7名、正規職員1名、臨時職員5名)</p> <p>前列左から2人目 松川優子 (勤務期間 S54.1～H24.3)</p> <p>後列左から3人目 小西博美 (勤務期間 S52.4～H25.3)</p>  <p>昭和54年12月 あまがさきアーカイブズ提供</p>
<p>7月1日</p>	<p>火災共済 全共連支部業務の受託に関する協定書並びに覚書を締結 元受火災共済事業 限度額500万円を受託し、実質的に限度額1,500万円となる。 →平成16年12月31日解除</p> <p>火災共済 掛金を平均12.7%引き下げる。</p> <p>『市報あまがさき第692号』 (昭和54年7月5日)</p> 

昭和		概要																
55年	3月31日	尼崎市消防局に消防指揮車2台寄贈(中11号車、北11号車)																
	5月29日	組合創立25周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈 表彰者:総代・役員・取次所等96人、団体34ヶ所																
	10月1日	火災共済 建物・動産の時価及び契約制限額の見直し <div>『市報あまがさき第721号』 (昭和55年9月20日)</div> <div>火災共済を充実 建物別契約額を引き上げ 10月から 安い掛金で万一に備えて 万が一(二十坪)の場合、百 いたく火災共済を充実す 三十口、千三百万円(現在 るため、市民共済生活協同 百口一千万円)に、文化 組合は、建物別契約限度額 住宅の借家は、二百万円(同 を十月一日から引き上げま 百一十万円)になります。 す。 契約最高限度額は、これ 掛金は一口につき、耐火 までとおり一口十口単位 構造住宅五十万円、一般木造 で百五十口、千五百万円で 住宅百口、文化住宅二百口 なっており、これまでとおり、 すが、建物の種類や面積に 加入手続きは、市民共済 幅に引き上げるものです。 事務局 ☎ 41-0005か、 例えは、一戸建て専用住 詳しいは、本紙に折込ま 宅、店舗併用住宅の持家で れている「市民共済によ 延べ建築面積が六六・一平 り」をご覧ください。</div>																
56年	3月	事務処理用電子計算システム(日本ユニバック社製)購入																
	10月1日	理事定数の改正21人(改正前20人)																
	10月1日	火災共済 ・破裂・爆発を事業の対象とする。 ・共済給付金内容の改善(1.43倍) <div>『市報あまがさき第746号』 (昭和56年10月5日)</div> <div>火災共済を充実 爆発事故も対象 市民共済生活協同組合は 十月一日から火災共済の対 象に破裂(水道管を除く)、 爆発事故を加えました。 これまでは、火災によっ て生じた損害のみ対象とし ていましたが、最近のマ シオンなどの火災を伴わ ないガス爆発などによつて生 じた損害についても補償す るものです。 共済金額の算 定方式を改善 支払共済金額の算定につ いても改善しています。 例えは、契約金額一千万 円で火災などで半壊損した 場合、これまで、損害額五 百万円を補償してしました が、後片付けや一部解体な どの経費が必要のため、約 四割増の七百十五万円の補 償が行われます。 安い掛金と簡単な手続き 早い支払いで万一の災害に 備えていたく火災共済に あなたも加入ください。 加入手続きは、最寄りの 取次所か同組合事務局 ☎ 41- 0005へ。</div>																
	11月1日	交通等傷害共済 ・被共済者1人1口につき掛金500円に統一 ・契約限度額を200万円に引き上げ ・車いすを車両に定義 ・共済金の特例 (8,000円未満は8,000円支給) <div>『市報あまがさき第748号』 (昭和56年11月5日)</div> <div>交通等傷害共済を充実 最高200万円の保障 車いす事故も対象に 市民共済生活協同組合は 十一月一日から、契約限度 額の引き上げなど、交通等 傷害共済の内容を一層充実 しています。 契約最高限度額は、これ まで二口年額千円で百万円 の保障だったのが、四口年 額二千円で二百万円の保障 に引き上げました。 医療共済金に最低保障 また、入院や通院の場合 にお支払いする医療共済金 に、八千円の最低保障額を 設けたほか、身体障害者の 車いすの事故を交通事故の 扱いとします。 交通等傷害共済は、交通 事故や火災事故など万一の 場合に備えていたく制度 です。また、同組合は、火 災共済も設けており、十月 一日から、ガス爆発による 損害を対象とするなどの改 正を行っています。 あなたも是非ご加入くだ さい。 加入手続きは、最寄りの 取次所か同組合事務局 ☎ 41- 0005へ。</div> <table><thead><tr><th>共済金→</th><th>死共済金</th><th>身体障害共済金</th><th>医療共済金(1日につき)</th></tr></thead><tbody><tr><td>契約額↓</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>1口 50万円契約の場合</td><td>50万円</td><td>30万円</td><td>入院 500円 通院 400円</td></tr><tr><td>4口 200万円契約の場合</td><td>200万円</td><td>120万円</td><td>入院 2,000円 通院 1,600円</td></tr></tbody></table> <div>共済金と契約限度額(1人4口まで加入できます)</div>	共済金→	死共済金	身体障害共済金	医療共済金(1日につき)	契約額↓				1口 50万円契約の場合	50万円	30万円	入院 500円 通院 400円	4口 200万円契約の場合	200万円	120万円	入院 2,000円 通院 1,600円
	共済金→	死共済金	身体障害共済金	医療共済金(1日につき)														
契約額↓																		
1口 50万円契約の場合	50万円	30万円	入院 500円 通院 400円															
4口 200万円契約の場合	200万円	120万円	入院 2,000円 通院 1,600円															

昭和	概要
57年 12月1日	<p>事務所移転 尼崎市昭通通2丁目51番地 尼崎市中小企業センター7F (現 尼崎市昭通通2丁目6番68号)</p> <div data-bbox="563 387 963 779">  </div> <div data-bbox="981 387 1444 779">  </div> <p>看板 平成21年6月設置</p>
59年 7月1日	<p>火災共済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全共連元受火災共済事業の契約最高限度額が1,000万円に引き上げられ、実質的に限度額2,000万円となる。 ・基本料金をベースにした割増、割引制を個別掛金額制に改める。 ・アーケードを廃止し、市場及び特殊物件等の整理に伴い一部掛金を引き下げる。 ・木造(非耐火)専用住宅の掛金単価を100円から90円に引き下げる。 <div data-bbox="352 1227 587 1283"> <p>『市報あまがさき第812号』 (昭和59年7月5日)</p> </div> <div data-bbox="590 1081 1444 1451"> <p style="text-align: center;">市民共済の火災共済 契約最高限度額2,000万円・ 木造専用住宅掛金1口90円に</p> <p>五万七千世帯です。 火災共済の契約内容 7月から一部変更 七月一日から、火災共済 の最高契約限度額をこれまで の千五百万円から二千万 円に引き上げ、掛金は木造 専用住宅についてこれまで の一口百円から九十円にす るなど引き下げています。 昨年度は八十八件の火災事 故について共済金をお支払 しています。もしもに備 えて、より安い掛金でより 大きな保証が受けられる火 災共済にご加入ください。 万一に備えて交通等 傷害共済にご加入を 交通等傷害共済の契約 は、年五百円の掛金で死亡 時五十万円の保証が、年 二千円の掛金で死亡時一 万円の保証までの四種類。 事故に遭った時に迅速に共 済金が支払われます。年々 増加する交通事故に備えて ご加入を。 今年創立二十九を迎え る市民共済は、市民の皆さ んが万一、火災や交通事故 などの不幸の事故に遭われ た場合に、市民の助け合い で経済的な保障を行って います。火災共済・交通等傷 害共済の加入世帯は、現在 続きをします。</p> </div>
60年 3月29日	<p>尼崎市消防局に消防指揮車寄贈 (中1号車)</p> <div data-bbox="360 1630 970 1888">  </div> <div data-bbox="989 1541 1444 1888">  </div> <p>受納式の様子(尼崎市消防局・あまがさきアーカイブズ提供)</p> <hr/> <p>5月30日 組合創立30周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈、祝賀会開催 表彰者: 総代30人、役員12人、取次所57人、団体32ヶ所</p>

70年のあゆみ

昭和		概要																				
60年	8月1日	<div>交通等傷害共済</div> <div><ul style="list-style-type: none">・長期的な事業経営基盤の安定化を図るため、「家族パック」制度を導入する。・現行の入院、通院日数に応じて支払う日額制を治療実態に即した21段階の期間制に改める。</div> <div>『市報あまがさき第838号』 (昭和60年8月5日)</div> <div><div><p>年額一千万の掛金で最高二百万円の保障が受けられる市民共済の交通傷害共済。お得な家族パックを始めました。</p><p>一人一口五百円で、四人・五人世帯向けの五千円コースと六人以上世帯向けの六千円コース。例えば、四人世帯で世帯主と配偶者がそれぞれ四口、家族二人がそれぞれ二口加入すると合計掛金が六千円ですが、家族パックでは五千円になります。</p><p>詳しくは、尼崎市民共済生活協同組合（昭和通一丁目四八八・中小企業センター内）☎078-800051へ。</p></div><div></div><div><p>◆共済金のお支払い額</p><table><tr><th>区分</th><th>1口</th><th>2口</th><th>3口</th><th>4口</th></tr><tr><td>死 亡</td><td>50万円</td><td>100万円</td><td>150万円</td><td>200万円</td></tr><tr><td>身体障害</td><td>30万円</td><td>60万円</td><td>90万円</td><td>120万円</td></tr><tr><td>医 療</td><td>8千円 ～9万円</td><td>8千円 ～18万円</td><td>9千円 ～27万円</td><td>1万2千円 ～36万円</td></tr></table></div></div>	区分	1口	2口	3口	4口	死 亡	50万円	100万円	150万円	200万円	身体障害	30万円	60万円	90万円	120万円	医 療	8千円 ～9万円	8千円 ～18万円	9千円 ～27万円	1万2千円 ～36万円
区分	1口	2口	3口	4口																		
死 亡	50万円	100万円	150万円	200万円																		
身体障害	30万円	60万円	90万円	120万円																		
医 療	8千円 ～9万円	8千円 ～18万円	9千円 ～27万円	1万2千円 ～36万円																		
62年	2月	<div>事務処理用電子計算システム 買換え</div> <div>(日本ユニパック社製 シリーズ8システム200)</div>																				

平成		概要
元年	4月1日	<p>火災共済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共済事故の範囲の拡大 航空機の墜落(落下物含む)、自動車の飛び込み、漏水(耐火構造のみ)及び落雷による損害を新たに加える。 ・費用共済金の新設 臨時費用、残存物取片付け費用、失火見舞費用、修理費用、漏水見舞費用(耐火構造のみ)を新たに設ける。 <p>『市報あまがさき第924号』 (平成元年3月5日)</p>  <p>4月1日から、火災共済の内容を充実します。 4月1日から、火災共済の契約の最高額の引き上げ1,300万円まで。 火災共済の充実1共済金の支払い対象事故を①自動車の飛び込み②航空機の墜落(落下物含む)③落雷④漏水による水濡れ(耐火構造のみ)にも。また、共済金以外に①失火見舞費用②修理費用③漏水見舞費用(耐火構造のみ)の費用もお支払いします。</p> <p>掛金(年額)は1口につき耐火構造住宅50円、一般木造住宅90円、文化住宅200円。</p> <p>申し込みは、中小企業センター内市民共済事務局(昭和通2丁目6-68 ☎481-0005)か取次所へ</p>
	4月1日	<p>火災共済 全共連元受火災共済事業の契約最高限度額が2,000万円に引き上げられ、実質的に限度額3,000万円となる。</p>

平成		概要
元年	7月6日	<p>尼崎市消防局に消防指揮車寄贈 (尼消1号車)</p>  <p>受納式の様子 (あまがさきアーカイブズ提供)</p>
2年	6月18日	<p>組合創立35周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈、祝賀会開催 表彰者：総代10人、役員2人、取次所15人、団体1ヶ所</p>
	8月27日	<p>自動車購入 (トヨタ マークII 1,838,350円) →平成29年7月24日廃車</p> 
3年	4月1日	<p>火災共済 ・組合の契約最高限度額が2,000万円に引き上げられ、実質的に限度額4,000万円となる。 ・共済掛金額の整理統合 商店1種・2種併用住宅を併せて商店併用住宅とし、掛金額を耐火150円、木造(非耐火)280円に改める。 共同住宅・市場・特殊物件・バラックを併せて特級物件とし、掛金額を耐火250円、木造(非耐火)380円に改める。</p>
6年	7月25日	<p>軽自動車購入 (スズキ ワゴンR 1,102,970円) →令和7年1月16日廃車</p> 
	10月1日	<p>交通等傷害共済 治療実態に即した21段階の期間制から日額制に改める。</p>


70年のあゆみ

平 成		概 要															
7 年	1 月17日	兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）発生 <div></div> <p>平成7年1月 あまがさきアーカイブズ提供</p>															
	3 月31日	外務員制度を廃止し、取次所に移行															
	6 月	兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）により罹災した火災共済契約者へ、見舞金を支給する。 平成8年3月31日時点 支払総額 328,826,048円 <table><tr><th>損害程度</th><th>地震による火災損害の支払額</th><th>損害程度</th><th>地震による倒壊損害の支払額</th></tr><tr><td>全焼</td><td>共済金額3%相当額</td><td>全壊</td><td>共済金額0.5%相当額</td></tr><tr><td>半焼</td><td>共済金額1.5%相当額</td><td>半壊</td><td>共済金額0.25%相当額</td></tr><tr><td>一部焼</td><td>一律 3,000円</td><td>一部壊</td><td>一律 3,000円</td></tr></table>	損害程度	地震による火災損害の支払額	損害程度	地震による倒壊損害の支払額	全焼	共済金額3%相当額	全壊	共済金額0.5%相当額	半焼	共済金額1.5%相当額	半壊	共済金額0.25%相当額	一部焼	一律 3,000円	一部壊
損害程度	地震による火災損害の支払額	損害程度	地震による倒壊損害の支払額														
全焼	共済金額3%相当額	全壊	共済金額0.5%相当額														
半焼	共済金額1.5%相当額	半壊	共済金額0.25%相当額														
一部焼	一律 3,000円	一部壊	一律 3,000円														
9 年	7 月17日	事業区域を「尼崎市」から「兵庫県」に拡大する															
	10月20日	掛金振込みによる契約更新開始（払込先：尼崎信用金庫・郵便局）															
	10月20日	掛金口座振替による申込受付開始 初回 平成11年2月5日口座振替実施 収納先：さくらファイナンスサービス株式会社（現 三井住友カード株式会社）															
10年	9 月1 日	法定準備金の積立限度額を「出資金総額の2分の1に相当する額」から「出資総額に相当する額」に改正															
11年	2 月5 日	掛金口座振替開始（平成11年3月満期分）															
	4 月1 日	日本生活協同組合連合会（現 日本コープ共済生活協同組合連合会）のCO・OP共済「たすけあい」（総合医療共済）の受託事業開始 →平成21年3月21日 日本コープ共済生活協同組合連合会発足															
	4 月1 日	電算システムを井上情報システムに変更 事務処理開始 （オフコンからパソコンに変更 開発費945万円）															
12年	3 月31日	管理職員の市派遣が終了し、翌年度より市退職者を採用															
	6 月12日	組合創立45周年記念式典を行う。 感謝状・記念品を贈呈し、記念祝賀会を開催する。 表彰者：総代13人、取次所4人、団体9ヶ所															
	10月1日	火災共済 再取得価額特約を実施 ※再取得価額特約とは、契約額を限度として標準的な建物や家財を再建、再購入するために必要な額を共済金として支払う特約															

平成		概要
12年	10月1日	<p>火災共済 全共連元受火災共済事業の契約最高限度額が4,000万円に引き上げられ、実質的に限度額6,000万円となる。</p> 
13年	8月29日	日本生活協同組合連合会のCO・OP共済「あいぶらす」(定期生命共済)の取扱い開始
16年	12月31日	火災共済 全共連火災共済の支部業務の委託に関する協定書(昭和54年7月1日締結)を解除する。 (組合限度額が6,000万円となったことに伴う元受火災共済事業の廃止)
17年	1月1日	火災共済 組合の契約最高限度額を6,000万円に引き上げる。
	5月30日	<p>創立50周年記念式典を行う。 感謝状・記念品を贈呈 特別表彰(創立時に設置した取次所及び団体):取次所7人、団体13ヶ所 功労表彰(25年以上継続):総代1人、取次所7人、団体2ヶ所</p>
	9月1日	日本生活協同組合連合会のCO・OP共済「あいぶらす」に「がん特約」の取扱い開始
19年	3月30日	ホームページ公開 (制作会社:井上情報システム株式会社 354,425円)
20年	4月1日	新・消費生活協同組合法施行
	7月1日	<p>役員定数の改正 理事15人以上20人以内(改正前21人) 監事2人以上3人以内(改正前3人)</p>
	12月31日	取次所制度廃止
21年	1月1日	<p>共済募集人制度開始 取次所を「共済募集人」に変更し、契約期間を1年とする共済募集人契約を締結</p>
22年	4月1日	火災共済及び交通等傷害共済の事業規約改正(契約者の保護による規定整備)
23年	7月1日	日本コープ共済生活協同組合連合会のCO・OP共済「ずっとあい」(終身共済)の取扱い開始
	10月1日	全国共済生活協同組合連合会(引受保険会社 共栄火災海上保険株式会社)の借家人賠償責任保険の取扱い開始
25年	3月31日	住宅事業廃止(平成20年4月1日消費生活協同組合法の改正による兼業規制に伴う廃止)
	4月1日	尼崎市へ住宅事業承継
28年	2月20日	<p>掛金のコンビニ払い開始 (三菱UFJファクター株式会社)</p>
	6月13日	共済推進員(集金業務)としてフレックス制の嘱託職員を採用

70年のあゆみ

平成		概要
28年	10月8日	<p>尼崎市政100周年記念に際し、 尼崎市に700万円寄付 このうち、一部が消防局の ヒーロースーツ作成に 活用される。</p>  <p>尼崎市政100周年記念ロゴマーク</p>  <p>あまらぶ戦隊AAA（トリプルエース） （尼崎市消防局企画管理課提供）</p>
29年	4月1日	<p>共済推進員を「共済契約推進員」に改め、共済契約推進員就業規程制定 →令和6年9月30日廃止</p>
	9月15日	<p>全国共済生活協同組合連合会（引受保険会社 共栄火災海上保険株式会社）の火災共済付帯保険（個人賠償責任保険、類焼損害費用保険）の追加取扱い開始</p>
	9月28日	<p>理事定数の改正 9人以上13人以内（改正前15人以上20人以内） これに伴い、平成29年6月26日に辞任した市議会選出理事4人の後任を選出せず、理事13人とし、理事数の削減を図った。</p>
30年	3月31日	<p>出資金の端数処理の変更 各組合員の出資金の50円未満の端数を未払込出資金として計上していたが、預り金として計上することに変更した。</p>
	6月15日	<p>常務理事定数の改正1人以上3人以内（改正前1人以上6人以内） 専務理事を副理事長に呼称を変更</p>
	9月4日	<p>台風21号が阪神間を通過 風水害による住宅への被害が発生し、数日間、停電、断水となるなど、住民生活にも支障を与えた。 これにより組合員から自然災害を補償する商品の要望が多数寄せられた。</p> 
31年	4月1日	<p>共済募集人を有期雇用から無期雇用に転換（平成31年3月14日労働契約書締結）</p>

令和		概要
元年	8月1日	ホームページリニューアル公開 (制作会社：株式会社アルファミクス 1,360,800円)
2年	1月21日	自然災害を対象とする保険商品及び引受保険会社決定（第3回理事会） 保険商品：個人用火災総合保険（安心あっとホーム） 引受保険会社：共栄火災海上保険株式会社
	3月31日	電算システムの開発に、株式会社エイ・エス・ビーとソフトウェア開発業務委託契約締結 納期 令和2年12月20日 契約金額 1,540万円
	4月7日	兵庫県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令 (令和2年4月7日～5月21日解除) 新型コロナウイルス感染症予防の対応 4.8 集金業務を全面停止 4.8 尼崎市にマスク2,500枚を寄付 5.22 第1回理事会が書面議決となる。 6.5 第65回通常総代会は、出席総代1人（議長）書面議決123人で開催 6.5 第2回理事会が書面議決となる。
	8月27日	財務局の損害保険代理店登録完了（共栄火災海上保険株式会社代理店）
	8月27日	共栄火災海上保険株式会社と損害保険代理店委託契約を締結
	10月1日	共栄火災海上保険株式会社の「個人用火災総合保険（安心あっとホーム）」の取扱い開始
	10月1日	共済業務委託団体24団体と新業務委託契約を締結（火災保険業務等追加）
	12月1日	共済募集人28人と新労働契約を締結 職員としての位置付けにより、コープ共済募集人資格を全員が取得、火災保険募集人資格を8人が取得
		
3年	1月14日	兵庫県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の再発令（令和3年2月28日解除） 職員の勤務編成として、時短勤務、週1日の在宅勤務を実施 集金業務は、第1回目の緊急事態宣言解除後の振込対応を継続
	3月31日	新電算システム一部納品（経理プログラムのみ令和3年4月1日使用開始） (開発業者：株式会社エイ・エス・ビー) 令和4年2月1日 完全稼働
	4月26日	兵庫県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の再々発令（3回目：令和3年4月26日～6月30日、4回目：8月20日～9月30日） 職員の勤務編成として、時短勤務を実施 集金業務は、第1回目の緊急事態宣言解除後の振込対応を継続
	6月4日	第66回通常総代会は、新型コロナウイルス感染症予防のため規模を縮小し開催 出席総代1人（議長）、書面議決115人
	9月1日	日本コープ共済生活協同組合連合会の学生総合共済事業及び全国大学生協共済生活協同組合連合会が行う短期生命共済事業の受託事業を開始 (令和4年4月1日保障開始)

70年のあゆみ

令和		概要
3年	10月1日	<p>「交通等傷害共済あんしんセット」の取扱い開始</p>  
4年	1月1日	共済募集人(26人)の労働契約書にみなし労働時間を明記するため労働契約を改める。
	2月1日	電算システムの稼働(旧システム打ち切り) (開発業者:株式会社エイ・エス・ビー)
	4月1日	係制から担当制に組織変更
	6月3日	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、第67回通常総代会は規模を縮小し、出席総代46名、書面議決77名で開催
6年	3月31日	共済推進員制度 休止
	9月30日	共済推進員制度 廃止
7年	1月16日	<p>軽自動車購入 (スズキ ワゴンR 1,353,530円)</p>  
	5月22日	<p>三大疾病を対象とする保険商品及び引受保険会社決定(第1回理事会)</p> <p>保険商品: コープの三大疾病保険 引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社</p>
	6月6日	<p>第70回通常総代会を開催</p> <p>出席総代 124人 ・本人出席 92人 ・書面議決 30人 ・委任状出席 2人</p> <p>組合創立70周年記念式典を開催</p> <p>来場者数 523人 ・来賓 38人 ・一般 474人 ・関係者 11人</p>   <p>総代会の記念品(フェイスタオル)</p>
	8月	三井住友海上火災保険株式会社と損害保険代理店委託契約を締結
	11月1日	三井住友海上火災保険株式会社の「コープの三大疾病保険」の取扱い開始

ポスター

火災共済

突い掛金 有利に給付
早い支払 簡単な手続

契約額 **100万円から200万円まで**
掛金 (100万円につき年額)

飲食店	第100円
普通住宅	150円 ~ 200円
文化住宅	300円
アパート	500円
商店	350円 ~ 600円

お申し込みは、下記へ郵送へ
昭和44年1月5日火災共済共済約款第4条を200万円に引き上げました

交通等傷害共済

全国一の市広い給付内容

日本国内で生じたすべての交通事故・火災事故による傷害
(発生場所・対象交通機関・制限はありません)

給付金 傷害の程度に応じて5000円から500000円まで

掛金 1人だけ加入の場合	600円
(年額)	2人以上で家族加入 (高年齢は500円)
5人以上の団体加入	1人につき500円
火災共済加入者連帯	
メイトだけ加入の場合	

取済所のわが国に古くのお知りなりたい方は
電話 (451-8121) スエヒロガキヤ
市役所内市民共済係までお問い合わせ下さい

昭和44年1月作成



災 あなたのくらしを災害から守る
い 金
掛 市民共済に加入しましょう
金 有利な給付

火災共済
 1口10万円まで掛金は年額200円
 建物の種別で掛金に割引・増増しあり
交通傷害共済
 掛金500円・600円で1週間の傷害5000円
 から50万円まで保障

尼崎市民共済生活協同組合
 電話 <481> 0102・0005

昭和45年5月作成

絆 あなたのくらしを災害から守る絆

市民共済に加入しましょう!!



安心掛金・有利な給付

火災共済

火災契約額は10万円から500万円まで
 掛金は10万円につき 年額 火災 金銭 130円・
 文火 生火 220円等
 (契約額・掛金は建物の構造・用途により異なります)

交通傷害共済

掛金は年額 1人1口 500円・2口 1,000円の優遇
 年額は 男 20歳以上 30歳以下 30万円
 婦人は 男 20歳以上 30歳以下 20万円
 (2口の優待はそれぞれ半額です)

尼崎市民共済生活協同組合
 ●昭和通2丁目玉江橋東端 (尼崎市中央消防署内)

電話 (481) 0102-0005

昭和48年10月作成

NHK Eテレ

市民共済をご存知ですか!!

あなたのくらしを守る

火災共済

火事だ

火災共済の掛金で
最高700万円の補償

交通傷害共済

交通事故だ

年1000円の掛金で
最高100万円の補償

火災共済

ハイ
共済会です

わずかな掛金で
最高700万円の補償

(契約料、掛金は、建物の構造により異なります)

お問い合わせは
お問合せは

**尼崎市の保証する
火災共済
交通傷害等市民共済
申込窓口所**

※市営公団は、三宮駅前にて受付を
担当しております。住所別案内係へ→

481 0102
0005
482 2409

尼崎市市民生活協同組合
昭和通2丁目5番地経営部

昭和50年7月作成

1人の災害みんなで共済

交通傷害共済

年1,000円の掛金で
最高100万円の補償

●1口500円の掛金で
(1口1人まで加入できます)

死亡時	50万円
不具度後	30万円

5年間の加入返還率
52.79%

火災共済

尼崎市の保証する
火災共済
交通等傷害共済
申込取次所

●掛金10万円につき年間

本 金	120 円
文化債	220 円

(文化債・年金は、20年間で元金・利息を返金されます)

50年間の火災発生
374件

★申込み・問い合わせは、申込取次所の最振のところに、市民生活 411-0102・0005へ

昭和51年11月作成

かな掛金 大きな保障

火災共済の契約最高額が
3000万円にアップ

保障内容が充実

- 保料する金額の削減は最大
※ 火災・盗難の被害にあっても、火災共済の保料を減額する仕組みにより、火災共済の保料が最大で半額に減額されます。
- 費用共済金の新設
※ 火災・盗難の被害にあっても、火災共済の保料を減額する仕組みにより、火災共済の保料が最大で半額に減額されます。

交通等傷害共済
にも含ませて
ご加入下さい

尼崎市民共済
(481)
0005-0102

平成元年4月作成

わたしたちも加入しています。
だから安心

■火災共済
契約は10万円から
最高3000万円まで

■交通等傷害共済
契約は1万円から
最高200万円まで
●家族/バツク割引契約もあります。

お申し込み
お問い合わせは

の看取の取次所へ

尼崎市民共済 ☎481-0005

平成元年4月作成

平成9年頃作成

バス車内ポスター広告

あなたの暮らしに 安心をプラス

火災共済 **交通等傷害共済 あんしんセット** **CO・OP 共済** **安心あっとホーム**

(賠償責任補償特約付) (自然災害補償火災保険)

尼崎市民共済生活協同組合 **TEL.06-6481-0005**

尼崎市昭和通 2 丁目 6-68 尼崎市民共済生活協同組合 7F

令和 3 年 11 月作成 (阪神バス)

交通等傷害共済 あんしんセット

ご家族全員を補償する **最高2億円**の賠償責任補償特約が付帯

ご加入に **年齢制限なし**

交通等傷害共済あんしんセット【組み合わせ例】 1口から4口まで組み合わせできます。

セット内容	ご自身の保障(補償)					ご家族全員の補償 賠償責任補償特約	年掛金 年間保険料
	死亡	身体障害	後遺障害	入院	通院		
尼崎市民共済の交通等傷害共済(3口契約)	150万円	90万円	—	1,800円(日額)	1,200円(日額)	—	1,500円
共栄火災の交通事故傷害保険	123万円	—	最高123万円	—	—	2億円	1,500円
合 計	273万円	90万円	最高123万円	1,800円	1,200円	2億円	3,000円

兵庫県内にお住まいまたは勤務している方がご加入いただけます!

こちらも取り扱っております **火災共済** **CO・OP 共済** **安心あっとホーム** (自然災害補償火災保険)

尼崎市民共済生活協同組合 ☎06-6481-0005

尼崎市民共済 検索

令和 4 年 9 月作成 (伊丹市営バス)

【CO・OP 共済 ニュース】

CO・OP 共済 のご加入は、**尼崎市民共済へ**

子育て中のお母さん、お子さんのケガや病気の備えは大丈夫ですか?

たすけあい **子どもの保障は月掛金 1,000 円から**

※詳しくは裏面にプリントをご覧ください

【CO・OP 共済に加入するには】 お預金をお支払いいただき、当組合員になることが必要です。
契約引受保険 / 日本共済生活協同組合連合会 (ご加入の生協によっては、その生協の加盟する連合会との共同引受になります)

おかげさまで創立 70 周年

尼崎市民共済生活協同組合 ☎06-6481-0005

火災共済 **交通等傷害共済**

令和 7 年 3 月作成 (阪神バス)

火災共済

裏

昭和46年2月～昭和48年1月作成

裏

昭和42年4月～昭和45年4月作成

中面

火災共済

裏

ひとりの災害 みんなで共済

市報あまがさき 広告

火災共済 保険の申込は
 いますぐ地区社会福祉協会まで
 受付期間 2月20日迄



市報あまがさき
 発行所 尼崎市役所 市長室
 発行兼 編集人 土井一秋
 印刷所 オール出版(株)
 有料頒価 10円

昭和31年2月5日


市民共済の一斉募集が始まります
 この機会に揃って御加入を!!
 期間 7月20日から 22日間
 8月10日まで
 申込の取扱は、前回と同様、各地区の
 募集取扱者が致します。
火事に備えてぜひ一口

全世帯配布



発行所
尼崎市
 総務公聴課
 尼崎市北城2947
 代表電話 3501
 3502(48) 5141
 発行人 土井 一秋
 印刷所
 オール出版(株)
 有料頒布 10円

昭和31年7月5日



火事

一斉募集中

火災共済でO.K!!

契約金 40円

市役所内 TEL8121

尼崎市民火災共済組合

昭和34年2月5日



大切な財産を守る

一斉募集中

火災共済

福祉協会でも受付

詳細については(48)8121番市役所内事務局へ

掛金

★普通住宅

○本庁、小田、大庄管内
 5万円契約で年額130円

○立花、園田、武庫管内
 5万円契約で年額100円

★店舗作業場併用住宅
 5万円契約で年額250円

貸家も契約できます

昭和36年2月20日

あなたの財産は

火災共済でO.K!!



焼けてからでは
おそい


市民共済生活共同組合(市役所7階)

昭和38年2月20日

交通戦争……

あなたも例外ではありません

**交通等傷害共済に
ご加入ください**



■共済金 死亡50万円をはじめ1週間以上の
傷害まで6段階あります

■掛金 1人で加入する場合年額600円

■申し込み 市役所内市民共済へ

昭和42年8月20日

<p>◆助金（1口10万円用、年間） 基本料（1口当たり500円）と割引・減額し（それ それ1口当たりの加算金によって計算します）</p> <ul style="list-style-type: none"> □お引当 耐火構造 100円 □耐震し 文化住宅 100円 共同住宅 200円（アパート、寮、下宿など） 商店 200円（事務所、医院などを含む） ブーケード 200円（ブーケードに接して いる建物の、市場など） パワック 200円 特等物件 400円 <p>火災発生時の被害状況により、 補助金の額は異なります。</p>	<h2 style="margin: 0;">大 災 共 済</h2> <h3 style="margin: 0;">ひとりの災害</h3> 	<p>交通等傷害共済</p> <p>火災共済の加入者は…… のご加入は…… ……の取次所へお申し 込ください。写真の上 方に表紙が出ています。 取次所のわからない方 くわしくお問い合わせな りたい方は市政所内市民 経済事務局までお問い合 わせください。</p>	<p>交通等傷害共済</p> <p>みんなで共済</p> <p>◆共済料金（年間）</p> <ul style="list-style-type: none"> □1人にて加入される場合……………600円 （所定引かれ金は300円になります） □2名以上の場合は1人について……………600円 すでに大災共済に加入している場合 同一世帯で2人以上加入される場合 同一事業所などで7人以上が同時に加入される場合 <p>◆被災費（災害のとき支払われる金額）</p> <ul style="list-style-type: none"> □死亡……………60万円 □3ヵ月以上の傷者……………5万円 □不具喪失、失明……………60万円 □1ヵ月以上の傷者……………2万円 □6ヵ月以上の傷者……………10万円 □1週間以上の傷者……………5万円 	<p>自転車・エスカレーターまで 乗りものに制限がありません 交通事故だけでなく 火災のヤケドやケガも 対象にすることができます。</p> <p>全国一の幅い、給付てす ぜひご加入ください</p> 
---	--	--	---	--

昭和43年3月20日

交通戦争……あなたも例外ではありません
万一……そんなとき
お役に立つのが交通等傷害共済です

☐お申し込み 写真のような看板が「出ている」取次所か市役所内市民共済事務局へどうぞ

尼崎市の保証する
火災共済
交通等傷害共済
申込取次所

☐掛金(年額) 1人で加入される場合…600円
すでに火災共済に加入されている場合、家族
2人以上加入される場合…500円

☐事故のときお支払いする金額 死亡50万円
1週間以上の傷害5千円まで6段階あります

昭和43年4月5日

みんなの共済
安心のある暮らし

火災共済
交通等
傷害共済



加入申込みは
お近くの取次所が市民共済事務局（昭和通2丁目48-3 ☎ 481-0102）へ

昭和50年11月5日

継続加入は割引き
 今年3月末現在、火災共済に加入している組合員で7月1日以降に満期日が来る契約継続者を対象に、前年度の契約分につき一口当たり二十円を割引きしています。

たとえば一般木造住宅の場合、前年度の契約が七百万円（一口十万円で七十口）であれば本来の掛金が一口当たり百二十円で計八千四百円ですが、割引き分が千四百円あるため七千円の掛金ですみます。

万一に備えて……
火災共済に加入を

尼崎市の保証する
火災共済
交通等傷害共済
申込取次所

安い掛金で大きな保障
 ▶加入できる人 市内在住か
 在勤の人▶契約できる額 1
 口10万円で最高70口▶掛金例
 （年額）1口につき耐火住宅
 →50円、一般住宅→120円

申込みは看板のかかっている家か市民共済事務局（昭和通2丁目48-3・中消防署の2階 ☎481-0102）へ

昭和52年12月5日

鬼に金棒
暮らして
火災共済!



万一に備え、安い掛金で大きな保証の
火災共済を。

他の火災保険に關係なく加入できます

- 加入は市内に在住か在勤の人ならどなたでも
- 契約額は 1) 10万円まで 最高70) 700万円まで
- 掛金(年額)は建物により 1) 50円~400円

◆加入の手続き 88カ所の申込取次所か市民共済事務
所 ☎481-0102へ ご連絡いただくか係員が伺います。

継続加入にはお得な割戻金制度もあります

昭和53年2月5日

尼崎市の保証する
火災共済
交通等傷害共済
申込取次所

しまった!
では遅いのです
火災共済で
暮らしていけるを

加入の申込みは
この看板のある家が
市民共済事務局
☎481-0102へ

最高150口で1,500万円の保障
市内在住が在勤の人ならどなたでも加入
できます。▶掛金は…年額1口につき樹火住宅
→50円、一般住宅→100円、文化住宅→200円

昭和54年11月20日

ひとりの災害みんなで共済

◇火災共済◇

最高150口で1,500万円保障

掛金 年額1口につき耐火住宅
→50円、一般住宅→100円、文化
住宅→200円(建物や条件によっ
て異なります)

万一の場合に備え

市民共済にぜひ加入を

◇交通等傷害共済◇

最高2口で100万円保障

掛金 1口50万円につき一般1
人500円、運転手1人1,500円

申込みは市民共済事務局(昭和通2丁目48-3 ☎471-0102)が近くの取次所へ

昭和55年11月5日

火災共済 最高150口で1,500万円の保障。掛金（年額）は1口につき一般木造住宅100円、耐火構造住宅50円（建物や条件によって異なります）。破損・爆発事故も対象

市民共済

交通等傷害共済 最高4口で200万円の保障。掛金（年額）は1口50万円につき1人500円。死亡共済・身体障害共済・医療共済があります。車いすによる事故も対象

わづかな掛金大きな安心

申込みは市民共済事務局（昭和通2丁目48-3 ☎481-0005）が取次所へ

昭和56年12月20日

ひとりの災害 みんなで共済

市民共済に加入を

火災共済 最高150口で1,500万円の保障。掛金（年額）は1口につき一般木造住宅100円、耐火構造住宅50円（建物や条件によって異なります）。破損・爆発事故も対象

交通等傷害共済 最高4口で200万円の保障。掛金（年額）は1口50万円につき1人500円。死亡共済・身体障害共済・医療共済があります。車いすによる事故も対象

申込みは中小企業センター内市民共済事務局（昭和通2丁目51 ☎481-0005）が取次所へ

昭和58年10月5日

新規申し込みの窓口が増えます

市民共済 ☎481-0005 の交通等傷害共済

尼崎市の保証する **交通等傷害共済** 新規申込・承ります

★市役所、各支所の市指定金融機関窓口で、新しく受け付けを始めた（武庫支部は2階社会福祉協議会窓口）。転車商業組合加盟の上マークの掲示がある店でも取り扱っています

★自転車を購入したときは、自転車店で加入を。尼崎自協は午前9時～午後5時（土曜日は正午まで）

昭和61年2月20日

市民共済に加入しませんか

安い掛け金・早い支払い・簡単手続き
対象は市内在住かつ在勤の人
詳しくは尼崎市民共済 ☎481-0005 へ

火災共済 最高4,000万円まで契約できます。年額鉄筋住宅5,000円、木造住宅9,000円の掛け金で1,000万円の保障。

交通等傷害共済 年額2,000円の掛け金で死亡200万円、後遺傷害120万円、通院1,600円（1日につき）、入院2,400円（同）。

総代の補充選挙します
4月1日現在で欠員になっている総代の補充選挙を5月13日に行います。総代候補者は5月5日に市民共済事務局組合掲示板（中小企業センター7階）と各支所に掲示します。4月1日現在の総代欠員数は次の通りです。本庁・武庫・園田＝各1人、小田＝3人、立花＝2人、職域団体＝6人。詳しくは尼崎市民共済へ

平成9年4月15日

尼崎市民共済

昭和30年に組合員の相互扶助の精神により助け合うことを目的として設立された消費生活協同組合です。

火災共済 万一の火災などの事故から住宅や家財を守ります。
付帯保険（火災共済にセットできます）
頻発損害 個人賠償 借家人賠償 費用保険 責任保険 責任保険 付帯保険引受会社：共栄火災

交通等傷害共済 交通事故（火災事故を含む）による死亡・傷害を保障します。

生命共済 (CO-OP共済) ケガや病気、災害など、くらしの「もしも」を保障します！

安心あつとホーム (共栄火災) 自然災害や地震も補償する火災保険です。
※地震は火災保険とは別に地震保険に加入いただく必要があります。 B20-1509-20211020

※はじめて尼崎市民共済をご利用される場合は、出資金50円が必要となります。

お問い合わせ 資料請求 **尼崎市民共済生活協同組合 ☎06-6481-0005**
〒660-0881 尼崎市昭和通2丁目6-68 尼崎市民共済生活協同組合7階
営業時間 9:00～17:00（土曜、日曜、祝日、年末年始は休業） **FAX 06-6482-2409**

ホームページからも資料請求ができます。
尼崎市民共済 検索

令和2年12月1日

尼崎市民共済生活協同組合の交通等傷害共済と共栄火災海上保険株式会社の交通事故傷害保険を組み合わせた商品です

交通等傷害共済あんしんセット
ご家族全員を補償する賠償責任補償特約が付帯 **ご加入年齢制限なし**

交通等傷害共済あんしんセット【組み合わせ例】 交通等傷害共済は1口から4口まで組み合わせできます

セット内容	ご自身の保障(補償)					ご家族全員の補償	
	死亡	身体障害	後遺障害	入院(日額)	通院(日額)	賠償責任補償特約	年掛金 年間保険料
尼崎市民共済の交通等傷害共済(3口契約)	150万円	90万円	—	1,800円	1,200円	—	1,500円
共栄火災の交通事故傷害保険	123万円	—	最高123万円	—	—	2億円	1,500円
合計	273万円	90万円	最高123万円	1,800円	1,200円	2億円	3,000円

22-1120

粗品プレゼント実施中!!
2025年3月31日まで
※期間中1世帯1回限り

尼崎市民共済生活協同組合 ☎06-6481-0005
〒660-0881 尼崎市昭和通2丁目6-68 尼崎市民共済生活協同組合7F
営業時間 9:00～17:00 定休日 土曜、日曜、祝日、年末年始

尼崎市民共済は、営利を目的としない生活協同組合として、組合員一人ひとりが出資金を出し合い、共同で組合を運営・利用する非営利の組織です。ご利用の場合は、出資金50円以上が必要となります。

詳しくは資料を
ご請求ください

令和6年6月1日

創立70周年事業

70th
Anniversary



創立70周年記念式典

尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年記念式典

と き 令和7年6月6日(金) 14:30~16:30
と ころ あましんアルカイックホール・オクト



みなさまへ

拝啓 初夏の候、みなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、本日は、当組合の記念式典にご臨席いただき、心よりお礼申し上げます。こうして70周年という大きな節目を迎えることができますのも、ひとえにみなさまの長年にわたるご支援とご愛顧の賜物と深く感謝いたしております。
本式典は、これまでお支えいただきましたみなさまに感謝の意を表し、楽しんでいただきたいという思いで実現いたしました。本日のみなさまの笑顔と私どもの新たな一歩を踏み出す活力とし、これまで以上に組合員のみなさまの期待に応えられよう努力してまいります。
今後も地域に密着した共済生活として「身近な市民共済」「信頼される市民共済」を目指して職員一同努力してまいります。
本日が、みなさまにとって、素晴らしいひとときとなりますよう心から願っております。
末筆ではございますが、みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

敬白
尼崎市民共済生活協同組合
理事長 赤川 孝平

尼崎市民共済 70年のあゆみ

- 1955(昭和30)年12月 尼崎市民共済生活協同組合創立
- 1956(昭和31)年2月 火災共済事業開始
- 1963(昭和38)年5月 住宅事業開始
- 1967(昭和42)年4月 交通等傷害共済事業開始
- 1992(平成4)年3月 組合員数106,000人突破
- 1999(平成11)年4月 受託共済事業開始(コープ共済)
- 2011(平成23)年10月 火災共済付帯保険取扱開始
- 2013(平成25)年3月 住宅事業廃止(平成20年の生協法改正に伴う兼業規制による廃止)
- 2020(令和2)年10月 保険代理事業開始(個人用火災総合保険「安心あつとホーム」)
- 2021(令和3)年10月 保険代理事業に交通事故傷害保険追加
(「交通等傷害共済あんしんセット」取扱開始)



つゆのまるこ 露の団姫

年間250席以上の高座と仏教のPRを両立し全国を奔走する異色の落語家
高校卒業を機に初代・露の五郎兵衛の流れを組む露の団四郎へ入門。3年間の内弟子修行を経て、主に古典落語・自作の仏教落語に取り組み中。

主な受賞歴

- 2011年11月 第6回 繁昌亭輝き賞「新人賞」受賞
- 2017年1月 第54回 なにわ藝術祭落語部門新人賞受賞
- 2020年12月 第4回 尼崎市文化未来奨励賞受賞

高座の他にもテレビ朝日「ぶっちゃけ寺」、
FMラジオ「あま咲き放送局」で活動中
(上方落語協会所属の落語家・天台宗道心寺住職・尼崎市男女共同参画推進員)



紙ふうせん

尼崎に育てられたフォークソングデュオ
暖かいハートフルな歌声をご鑑賞ください。
二人は、尼北高校3年生の時、クラスメイトとなり、机を並べた。

1967年からフォークソングのデュエットを組み、日本の伝承歌(「竹田子守唄」「コキリコ節」など)と、欧米の伝承歌を歌い、2年間、尼崎市武庫之荘の文化会館で「赤い屋根の家・タウンコンサート」を毎月1回開催した。1部は桂米朝門下の若手落語家の落語、2部は7~8組のアマチュアフォークバンドの演奏により、いつも満員の盛会であった。

- 1967年 デュエット結成
- 1969年 「赤い島」結成、「第3回YAMAHAライトミュージックコンテスト」グランプリ受賞
- 1970年 「赤い島」プロデビュー
- 1974年 「紙ふうせん」として二人で活動開始
- 2025年 「紙ふうせん」結成51目となる。



後藤 悦治郎

兵庫県生まれの尼崎市育ち。
「赤い島」「紙ふうせん」のリーダー・作詞作曲・プロデューサーとして国内外で活動。
・尼崎市立開明小学校
・兵庫県立尼崎北高校
・京都外国語大学

平山泰代

広島県生まれの尼崎市育ち。
明るいキャラクター
・尼崎市立七松小学校
・尼崎市立立花中学校
・兵庫県立尼崎北高校
・武庫川女子大学



プログラム

開会挨拶	理事長 赤川 孝平
来賓祝辞	尼崎市長 松本 眞 様
落語	露の団姫
音楽コンサート	紙ふうせん
書籍「紙ふうせん」歌を紡いで50年」当選者発表 (当選者は2階ロビーで座席券をご提示ください。)	

ご来賓名簿

尼崎市長 松本 眞 様	後藤法律事務所 弁護士 後藤 康仁 様
兵庫県 県民生活部 県民運動課 消費政策班長 米田 潤也 様	中野会計士 中野 和子 様
全国共済生活協同組合連合会 専務理事 蔵田 一成 様	公益財団法人 尼崎地域産業活性化機構 理事長 渡邊 憲治 様
総務課長 渡部 和彦 様	尼崎信用金庫 東灘支店 支店長 山口 幸男 様
兵庫県生活協同組合連合会 専務理事 江見 洋 様	尼崎商工会議所 専務理事 芝 俊一 様
日本生活協同組合連合会 関西連事務局長 村上 毅 様	尼崎医療生活協同組合 理事長 大澤 芳清 様
日本コープ共済生活協同組合連合会 関西地区推進部長 河上 真一 様	専務補佐 岸本 貴志 様
関西地区推進部担当 千代田 優 様	日本製鉄尼崎労働組合 組合長 木本 啓介 様
共栄大災海上保険株式会社 神戸支店 支店長 南雲 徹也 様	執行委員 阿部 樹 様
副支店長 中島 道起 様	有限会社 UHMエスアート 代表取締役 梶山 宏 様
主査 世浪 健 様	尼崎市消防団 小田地区 副団長 津田 加寿男 様
大阪市民共済生活協同組合 理事長 林 浩一 様	尼崎市消防団 大庄地区 副団長 沢井 賢一 様
総務課長 龍根 栄子 様	尼崎市消防団 立花地区 副団長 長谷 光義 様
西宮市民共済生活協同組合 理事長 岸本 正 様	尼崎市消防団 武庫地区 副団長 高井 伸一 様
係長 渡瀬 智弘 様	尼崎市消防団 園田地区 副団長 沖田 和夫 様
神戸市民生活協同組合 専務理事 岡田 健二 様	協同組合 阪神商工共済会 理事長 小野 勝 様
普及推進課長 松下 智博 様	南塚口中町会 会長 小谷 聡 様
姫路市民共済生活協同組合 理事長 柏原 浩明 様	
課長補佐 山本 悠人 様	
三井住友海上火災保険株式会社 生協連連時命部長 倉橋 孝志 様	
神戸第二支社長 宗玄 清秀 様	
神戸第二支社長代理 吉井 亜衣 様	

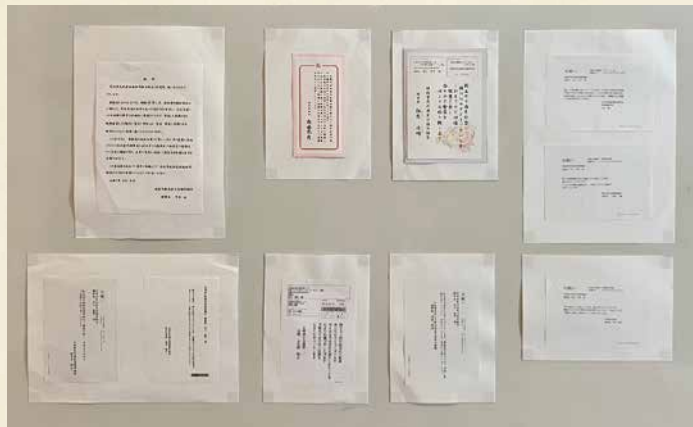
順不同



記念式典会場入口に
立看板を設置しました。



(撮影・提供：松尾広国)



お花やお祝いのメッセージを
いただきました。



赤川理事長の挨拶



尼崎市長 松本眞様に祝辞を賜りました。



大勢の組合員の皆様にご来場いただきました。

(撮影・提供：松尾広国)

創立70周年記念式典



露の団姫さんの落語をお楽しみいただきました。（撮影・提供：松尾広国）



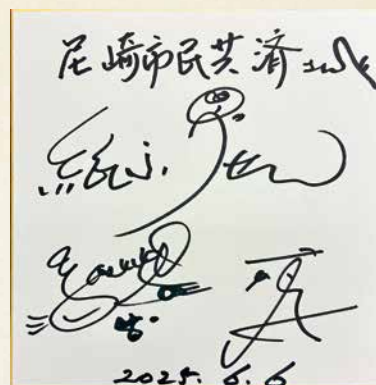
大盛況（生協）でした。



紙ふうせんの音楽コンサートをお楽しみいただきました。（撮影・提供：松尾広国）



紙ふうせんとアーティストの皆様。とても素晴らしいコンサートでした。



ご来場者に抽選で紙ふうせんとう露の団姫さんの本をプレゼントしました。（撮影・提供：松尾広国）



記念式典に向けて広告やチケットなどを作成しました。

**尼崎市民共済
創立70周年記念式典のご案内**

2025年6月6日(金) 開演 14:30(開場 13:30)
あましんアルカイックホール・オクト
尼崎市昭和通2丁目7-16
(阪神尼崎駅 徒歩7分)

紙ふうせん(コンサート)
つゆのまるこ 露の団姫(落語) 尼崎市出身 フォークデュオ

♪冬がくる前に♪
♪翼をください♪

組合員様(ご家族、ご友人)抽選で400名**無料**ご招待
応募方法は裏面をご覧ください。

尼崎市民共済生活協同組合

応募ハガキ付きチラシをお配りし、
ホームページにも掲載しました。

火災共済にご加入ください 年掛金500円から ※住宅の構造により異なります

創立70周年記念式典 組合員様(ご家族、ご友人)抽選で**400名無料ご招待**

2025年 **6月6日(金)**
開演/14:30(開場/13:30)
会場 あましんアルカイックホール・オクト
尼崎市昭和通2丁目7-16(阪神尼崎駅 徒歩7分)

紙ふうせん(コンサート)
尼崎市出身フォークデュオ
♪冬が来る前に
♪翼をください

つゆのまるこ 露の団姫(落語)

尼崎市民共済生活協同組合
尼崎市昭和通2-6-68 尼崎市民共済生活協同組合センター7F
TEL 06-6481-0005

「市報あまがさき」2025年4月号に広告を掲載しました。



ハガキやインターネットから、記念式典に
たくさんのご応募をいただきました。

尼崎市民共済生活協同組合

〒660-0881
兵庫県尼崎市昭和通2丁目6-68
尼崎市民共済生活協同組合
TEL 06-6481-0005 FAX 06-6482-2409
営業時間 9:00~17:00(土日祝は休業)

尼崎市民共済創立70周年記念式典
令和7年6月6日(金) 14:30開演
紙ふうせん(コンサート)
抽選で400名様 **無料ご招待!!**
(組合員様限定)

尼崎市外の組合員の皆様へは
ハガキでお知らせしました。

尼崎市民共済創立70周年記念式典
2025年6月6日(金) 開場 13:30 開演 14:30
あましんアルカイックホール・オクト
指定席 **A1-3**
指席(落語) 紙ふうせん(コンサート)

事前配付の座席券

尼崎市民共済 創立70周年記念式典 座席券
2025年6月6日(金) 開場 13:30 開演 14:30
A1-4
指席(落語) 紙ふうせん(コンサート)

当日引換の座席券



当選された組合員の皆様
座席券の引換に持参されたハガキです。

記念品



亀井堂総本店瓦せんべい
記念式典の来場者にお配りました。



メッシュケース



ボールペン

契約更新時に組合員様にお配りしています。

梅澤 裕子

尼崎市民共済生活協同組合創立70周年に立ち会うことができ、大変嬉しく思います。

私が市民共済の仕事に携わって、今年で30年となりました。

もともとは義母が行っていた仕事を受け継いだことが、関わりをもつきっかけです。

「共済」という言葉を初めて聞いた時には、どのような仕事なのか、自分に務まるのか不安が大きかったのを覚えています。初めてお客様のもとを訪れる際にはとても緊張したのを今でも忘れられません。その後、年月を重ねる中で多くのお客様との出会いに恵まれ、人と関わることの大切さを学ぶことができました。そして、この仕事を通じて自分自身が大きく成長することができたと感じております。

今まで出会ったお客様、そして市民共済の関係者の皆様は、私にとってかけがえのない大切な財産です。これからも一つひとつの出会いを大切にしながら、お客様はじめ地域社会のお役に立てますよう日々精進してまいります。



中尾 孝子

尼崎市民共済の記念すべき創立70周年の節目に立ち会え、とても光栄に思います。

私が中尾家に嫁いだ時、義父は、町会長や消防団の分団長などを担い地域のために活動していました。義父の影響もあり主人や義弟達も消防団に所属し、夜中に火災発生のサイレンが鳴ると家族全員が飛び起き、主人達は火災現場に駆けつけ消防隊員らと連携し消火活動を行い、私はハラハラしながら主人達の帰りを待っていたものです。

我家の募集人の仕事は、昭和48年に義父の「取次所」から始まり、平成7年に主人が受け継ぎ、その後、平成21年に私が受け継ぎました。このような環境でしたので、災害に備えるよう共済への加入の呼びかけは自然にできました。

義父の時代から継続していただいているお客様もあり、募集人の仕事は地域のみなさんとふれ合えるとてもやりがいのあるものです。

私も年齢を重ね、病気により仕事のできない時期がありましたが、地域のみなさんのお役に立てるようこれからもがんばっていきたいと思います。



橋爪 弘子

尼崎市民共済生活協同組合創立70周年の節目に立ち会うことができ、大変嬉しく思います。

義母からの引き継ぎでこのお仕事を始めたのは、阪神大震災のあった平成7年でした。当時は自宅に「尼崎市民共済取次所」の看板を掲げており、その看板を見て組合に加入された方もおられました。

私の最初のお仕事は、契約の更新時に火災共済契約者に震災のお見舞金を届けることでした。震災により被害を受けられた組合員さんも多く、ご自分も大変なはずなのに、お会いした組合員のみなさんは親切にやさしく接してくださいました。前もってお電話でご都合を伺い訪問すると、冬は玄関に温風ヒーターやストーブがついていて暖かく、夏は扇風機が用意されていて冷たいお茶をいただいたこともありました。少しの間、たわいのない話をしながら契約を交わしたことで、ほんわかした気持ちになれたことを覚えています。

慣れない間は地区の町会地図を片手に自転車ですぐ往復したことも楽しい思い出です。アツという間に30年が過ぎましたが、これからも地域のみなさまに安心をお届けできるよう、努めてまいります。



濱田 百合子

組合員の皆さまに支えられ、組合が創立70周年を迎え、私も31年という長い年月を関わらせていただいたことに驚きと喜びを感じております。

当初、掛金をお預かりすることが、まるで借金取りのように言われるなど、悲しい思いもしました。仕事を続けていくうちに、年に一度の訪問を心待ちにしてくださる方が多くなり、少しのおしゃべりを楽しみながら手続きをしてくださっていることに感謝しております。

近年は、一人暮らしの高齢者の方々も多くなり、詐欺電話を警戒して電話に出てくださいないこともあります。施設に行かれたり、亡くなられたり、寂しいところではありますが、また来年も会えますようにと、待っていてくださる組合員さまがいる限り、頑張らなければならないと思っています。

子育てから親の介護と私自身の状況が変わる中、様々な方々との『出会い』がありました。短い会話の中で、「私も経験があるわ。頑張ってるね。」と何度となく励ましていただいたことが人生の糧となっています。



三原 明子

我家は三世代に渡り市民共済に携わってきました。

私の祖父は、昭和21年1月に当時の勤務先に労働組合を結成し、初代組合長として労働者の暮らしが豊かになるよう取り組んでいました。退職後にその経験を活かし地域の商店街の人々を対象に「尼崎市潮江市民保険組合」を設立し活動していました。昭和30年に市民共済から加入者募集の協力要請があり、潮江市民保険組合員に火災共済の加入を呼びかけ大勢が市民共済にも加入しました。昭和39年10月からは地域の皆さまに活動の場を広げるため、市民共済の「汐江保険組合取次所」となりました。



私の市民共済の初仕事は、祖父が入院し集金に行けなくなった昭和44年頃でした。小学生だった私に祖父が「お金の計算ぐらいできるだろう。」と言い1ヶ月ほど火災共済の集金をしたのです。今では考えられないことです。

祖父が80才を過ぎ取次所を廃止して10年ほど経った平成7年3月、事務局から母に「阪神大震災のお見舞金を支払うのに人手が足りない。取次所をやってもらえないか。」と電話がありました。地域の方々のお役に立てることで、母は喜んで取次所を引き受けました。やがて、母も高齢となり、その後は私が受け継ぎ、今年で20年が過ぎました。

私達家族が市民共済の誕生から関わり、記念すべき創立70周年に立ち会えたことを大変うれしく思います。今後も地域の皆様に寄り添い、共済を広めてまいります。

望月 敏男



尼崎市民共済ができて70年になるとき。70年前といえば、戦後復興のまっ只中で、皆が貧しく生活に追われていた時代に違いない。

阪神尼崎駅の下を流れる庄下川、かつては川底からメタンガスがブクブクと泡立ち、異臭を放っていた。機械油やメッキの廃液が処理されず、工場からそのまま垂れ流されていたのである。公害の町といわれたのも無理はなかった。その庄下川、今では大きな鯉がゆうゆうと泳いでおり、冬には川に架かった配水管にカモメが羽を休める風景が目を楽しませてくれる。昔日の思いである。

さて、その庄下川と国道2号線の交わる所の北東に世界の小澤が愛したアルカイックホールがある。そのホールと2号線をはさんで建つ中小企業センターの7階に市民共済の事務所がある。

市民共済の募集人としてかれこれ四半世紀動めてきたが、色々な人との出会いがあった。挨拶から始まり数分の短い会話なのであるが、やはりそこには人と人との繋がりがあった。勿論全てが全て良き人ばかりではない。不愉快な思いをさせられた事もあった。だが、暑きにつけ、寒きにつけ労わってくれるお客さんの何と多かったことか。その度に報酬を得る為だけに働いているのではないという実感を強く受けた。以前、火事に遭いチリチリの髪と痛々しい火傷を負いながらも礼を言ってくださったお客さんのことなどは忘れられない。

今日もパトカーや消防車がサイレンを鳴らしながら走ってゆく。事故は小さなものであってくれ、火事は小さなボヤであってくれと願ってやまない。



元共済募集人

宮崎 和子 在職期間43年（昭和55年1月～令和5年8月）

中井 敏子 在職期間31年（平成6年9月～令和7年9月）

堀口 ツヤ子 在職期間22年（平成12年4月～令和5年2月）

尼崎市民共済創立70年にあたり、退職後に記念誌の執筆依頼をいただいたことで、活動を共にした仲間が集まる機会となり大変嬉しく思います。

私達は長年、大庄地区の共済募集人として思いをひとつにし、地域の皆様に共済を広める活動をさせていただきました。早速、その活動を振り返ってみましょう。

宮崎 「昭和39年10月、義父が市民共済の『西大島東光取次所』を始め、昭和55年1月に私が引き継ぎ、家事・育児・自営業を熟しながら自転車で受け持ち区域を走り回りました。義父の後押しもあり、毎日が充実して楽しかったです。ありがたいことに、組合員さんにご友人を紹介していただくことが何度もありました。」

中井 「私は取次所を始めたとき不安がいっぱいで、当時いろいろ教わった宮崎さんが頼りでした。組合員さんに接することがうれしく、集金の依頼や相談があるとすぐバイクで駆けつけました。いつからか私を頼りにしてくださることにやりがいを感じるようになっていました。」

堀口 「私も前任者に助けられました。狭く密集した地域は前任者が一年間同行してくださったおかげで、その後はスムーズに訪問することができました。組合員さんは、温かい方ばかりで、

年1回の訪問を心待ちにしてくださっていたことが何より励みになりました。」

毎年実施される加入促進運動では、大庄地区共済募集人のみんなで団結し、新規組合員の獲得に邁進しました。声掛けや商品説明の方法など、食事会を楽しみながら教え合ったことでさらに活動力を高められたように思います。また、体調を崩ししばらく仕事ができなくなったときは、近所のだれかが代行し助け合ってきました。本当に良い仲間巡りに出会ったからこそ共済募集人という仕事をやり遂げられたのだと思います。この経験は、私達に人に寄り添うことの大切さや笑顔での対応が初対面の方の警戒心を解き翌年の笑顔に触れられることを教えてくれました。

組合員さんの最も近くにいる共済募集人は、地域密着型の原動力となる市民共済の強みでもあり、私達はその役割を担えたことに誇りを感じます。

今後、私達は組合員として市民共済の支えになれたら幸いです。



中井（左） 宮崎（中央） 堀口（右）

取次所（現 共済募集人）の研修旅行



那谷寺参拝記念 昭和41年頃



安芸の宮島 昭和46年6月6日



白杵磨崖仏 昭和52年7月21日



中部山岳国立公園 昭和53年6月7日

写真提供 (S41年～S53年)
共済募集人 三原 明子



芸達者な取次所の人々が自前の着物や小物を持参して皆を楽しませていたようです。昭和53年6月7日



岡山県武蔵の里 平成14年11月26日 (写真提供 共済募集人 岸田チエ子)

共済募集人の研修

組合の初代顧問 賀川豊彦氏について学びました。

●場所：賀川記念館

(神戸市中央区吾妻通5丁目2-20)

●日時：令和7年9月16日

●講師：田中 重至氏



当日の資料より抜粋

労働組合の母 協同組合の父 共済の創設者

賀川豊彦

— 思想と実践 —

2025年9月16日
社会福祉法人イエス団
賀川記念館
田中重至

1922(大正11)年 神戸復活共済組合を設立
1923(大正12)年 東京復活共済組合を設立
1935(昭和10)年 欧米を回り各国の保険制度を視察し、「保険制度の協同化を主張する」という論文を発表
1938(昭和13)年 N・パルサー著の『協同組合保険論』を翻訳して刊行
1940(昭和15)年 「日本協同組合保険論」を執筆刊行
1942(昭和17)年 共栄火災を創立(大東及び大福海上火災保険の合併)
1947(昭和23)年 農業協同組合法成立
1948(昭和23)年 消費生活協同組合法成立
1951(昭和26)年 全国共済農協連の認可
1954(昭和29)年 大阪で労働者共済誕生
1955(昭和30)年 新潟で労働者共済誕生
1956(昭和31)年 富山、長野、北海道、群馬、福島
1957(昭和32)年 労済連創立→1976年 全労済に改称

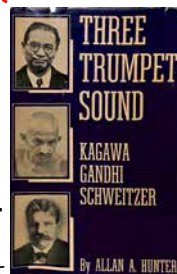
20世紀の三聖人

カガワ

ガンジー

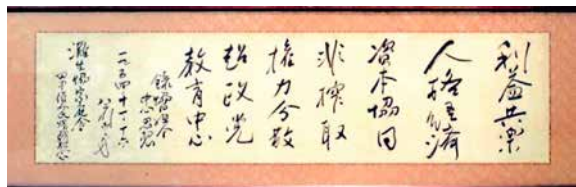
シュバイツァー

1939年、アメリカで出版された



1954(昭和29)年 11月16日

協同組合中心思想



日本の再建は生命共済から

農村復興は農協互助組織による

長期資金の獲得に始まる

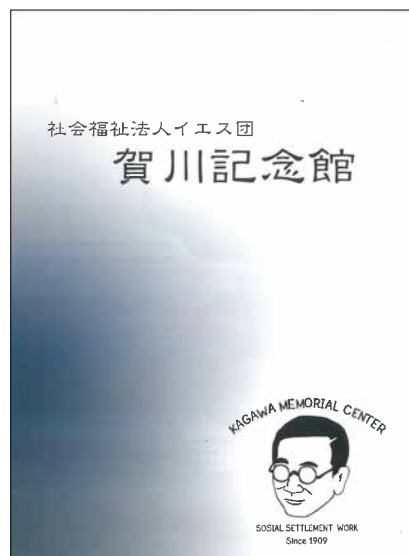
1956・1・1 賀川豊彦



賀川氏は昭和30年に、尼崎市の最高顧問に就任されています。
また、当組合の顧問となり多くの助言をいただきました。

1888(明治21)年7月10日神戸で誕生

1960(昭和35)年4月23日召天



講義の様子です。



共済募集人の全員が受講しました。



研修の後に「神戸酒心館」で懇親会を行いました。



組合に寄せられたお客様の声

ペンネーム とるじい様

交通等傷害共済

年齢も65歳を超えると身体的にリスクも上がるので掛金もすごくリーズナブルで保障内容に安心感が有り助かります。



年齢も65歳を超えると身体的にリスクも上がるので掛金もすごくリーズナブルで保障内容に安心感が有り助かります。

R7.6.17

武村 郁子様

火災共済 交通等傷害共済

昨年末、自転車でころび、顔と足等をけがしました。交通傷害保険はずっと前から入っていましたが、今回のような事故にあうと入っていて良かったとつくづく思います。メガネがこわれて買い換えなければならなかったので、共済金はありがたかったです。



昨年末、自転車でころび、顔と足等をけがしました。交通傷害保険はずっと前から入っていましたが、今回のような事故にあうと入っていて良かったとつくづく思います。メガネがこわれて買い換えなければならなかったので、共済金はありがたかったです。

R7.2.7

ペンネーム けんしん様

コープ共済

今回、契約する時にホームページで契約していたが、やり方がいまいちわからなくて協同組合の登録だけしていたらわざわざ電話で保険の登録方法を教えていただき、契約書を送る手続きをしていただき、安心して契約する事ができました。

ありがとうございました。



今回、契約する時にホームページで契約していたが、やり方がいまいちわからなくて協同組合の登録だけしていたらわざわざ電話で保険の登録方法を教えていただき、契約書を送る手続きをしていただき、安心して契約する事ができました。ありがとうございました。

R6.7.29

ペンネーム fuku5217様

火災共済 交通等傷害共済あんしんセット

これから自転車に乗る事が増えると思います。妹共々お世話になってありがとうございます。加害者、被害者でも安心しております。より一層注意しながら走ります。お電話しても親切、丁寧でうれしかった！



これから自転車に乗る事が増えると思います。妹共々お世話になってありがとうございます。加害者、被害者でも安心しております。より一層注意しながら走ります。お電話しても親切、丁寧でうれしかった！

R6.12.4

ペンネーム H・T 様

火災共済

契約者の父が他界し、更新手続の件で窓口
に連絡したところ、迅速に対応
して頂き、保障内容も現
在の住まいに合ったもの
を提案してくださいまし
た。担当の方の人柄と分
かりやすい的確な説明で安心して加入することが出来
ました。ありがとうございました。



契約者の父が他界し、更新手続の件で窓口
に連絡したところ、迅速に対応して頂き、保障
内容も現在の住まいに合ったものを提案して
くださいました。担当の方の人柄と分かりやすい
的確な説明で安心して加入することが出来ました。
ありがとうございました。

R6.8.6

お名前 匿名

火災共済

営利を目的としない市民共済の利用分量割戻しは毎年
の楽しみである。また、取扱者のテキパキ気持ちの良い
対応にいつも安心して契約更新させて頂いております。
感謝



営利を目的としない市民共済の利用分量
割戻しは毎年の楽しみである。
また、取扱者のテキパキ気持ちの良い
対応にいつも安心して契約更新
させて頂いております。感謝

R6.8.2

家弓 傳一郎様

火災共済

尼崎市民共済なので安心出来
ますので、又、集金に来て下
さいますので便利です。宜し
くお願い致します。



尼崎市民共済なので
安心出来ますので、又、集金に
来て下さいますので便利です。
宜しくお願い致します。

R6.7.29

ペンネーム M・K 様

火災共済

亡くなった母の家の火災共済をスタッフの方に相談の
上引継ぐ形で契約する事になりました。電話での対応
でいいいにお話を頂き亡母の諸事でつかれている
時だったのでありがたく感じました。市民共済のイ
メージが変わりました。これ
からも宜しくお願いします。



亡くなった母の家の火災共済を
スタッフの方に相談の上、引継ぐ形で
契約する事になりました。電話での対応
でいいいにお話を頂き、亡母の諸事
でつかれている時だったので、ありがたく感じました。
市民共済のイメージが変わりました。これからも
宜しくお願いします。

R6.8.9

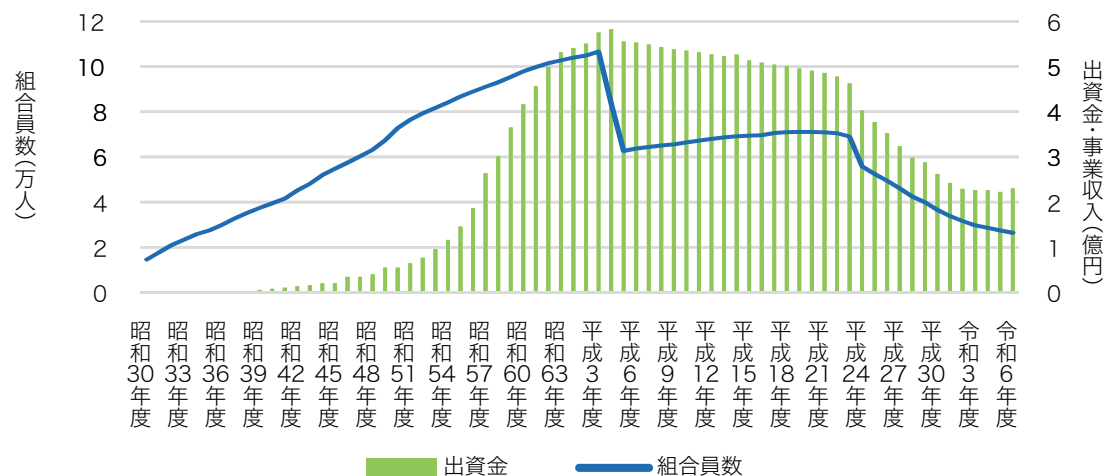
資 料

70th
Anniversary

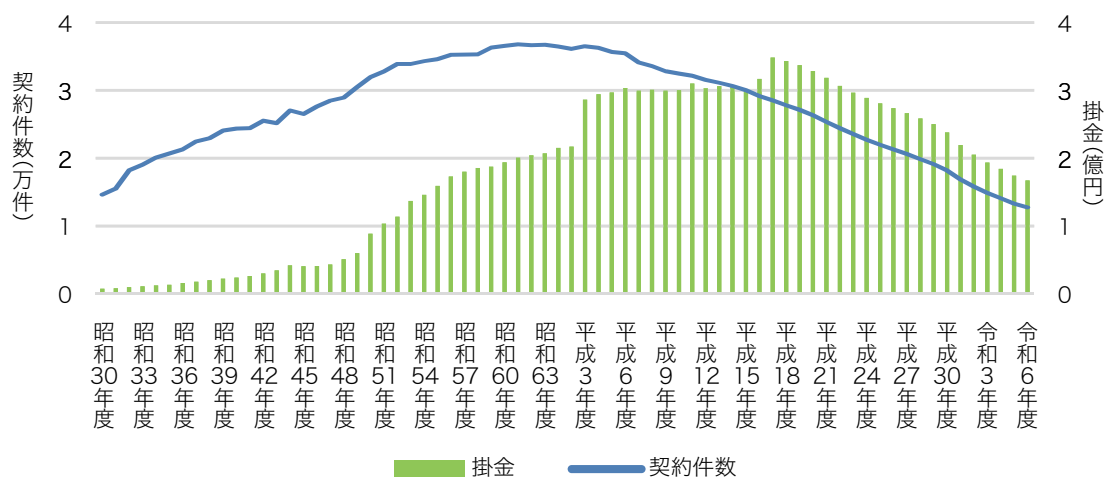


グラフで見る70年

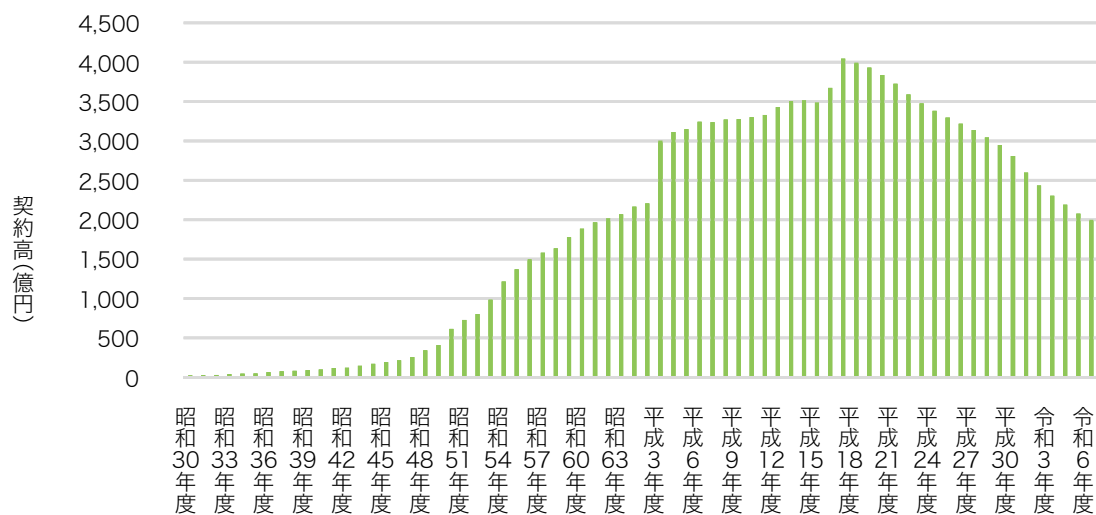
1. 組合員・出資金の推移



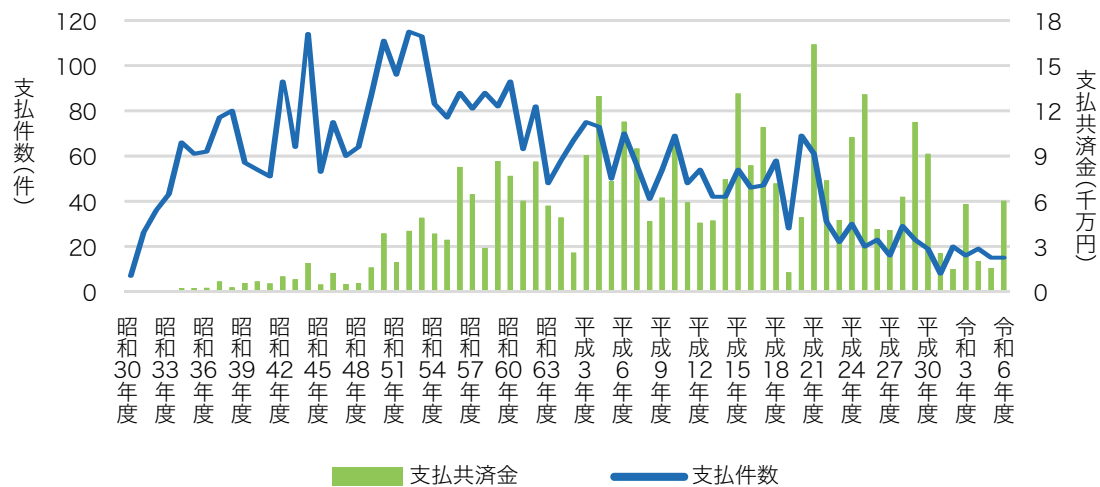
2-1. 火災共済加入状況の推移



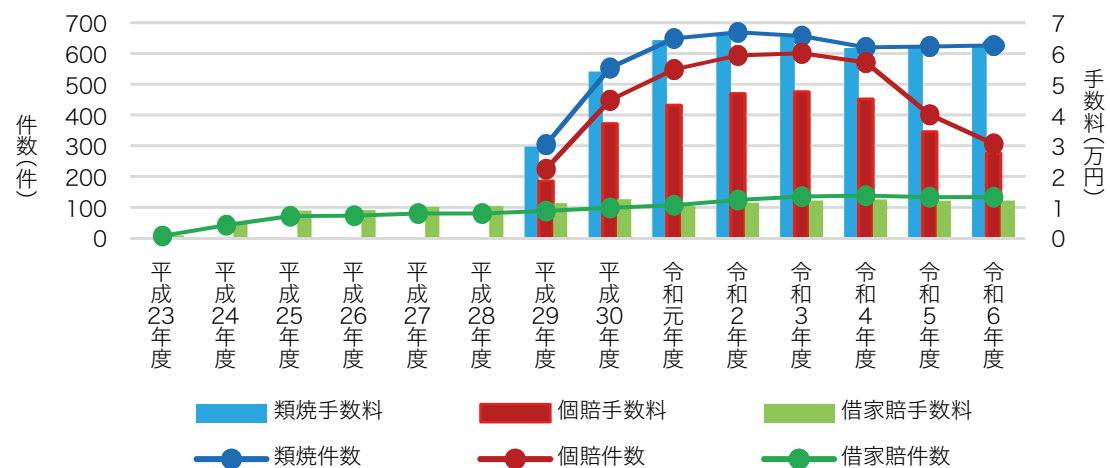
2-2. 火災共済契約高の推移



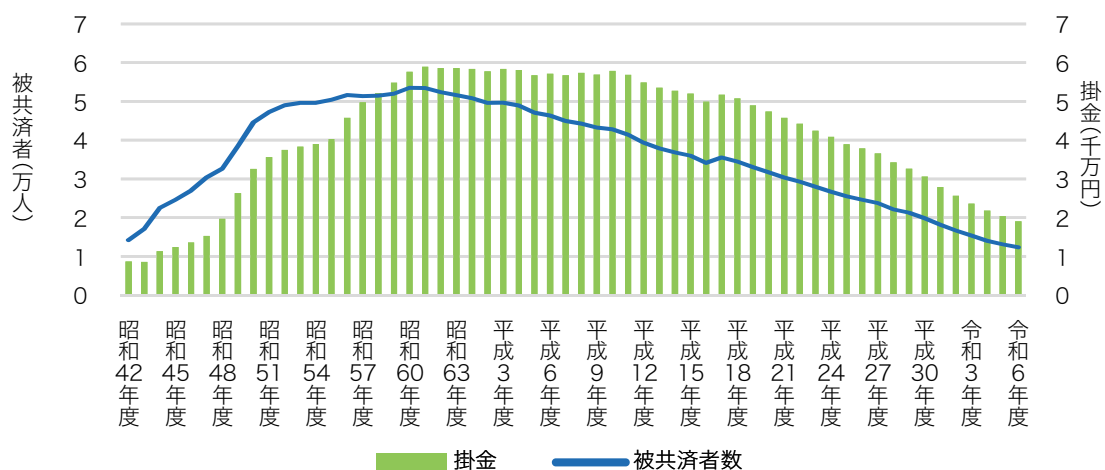
2-3. 火災共済金支払状況の推移



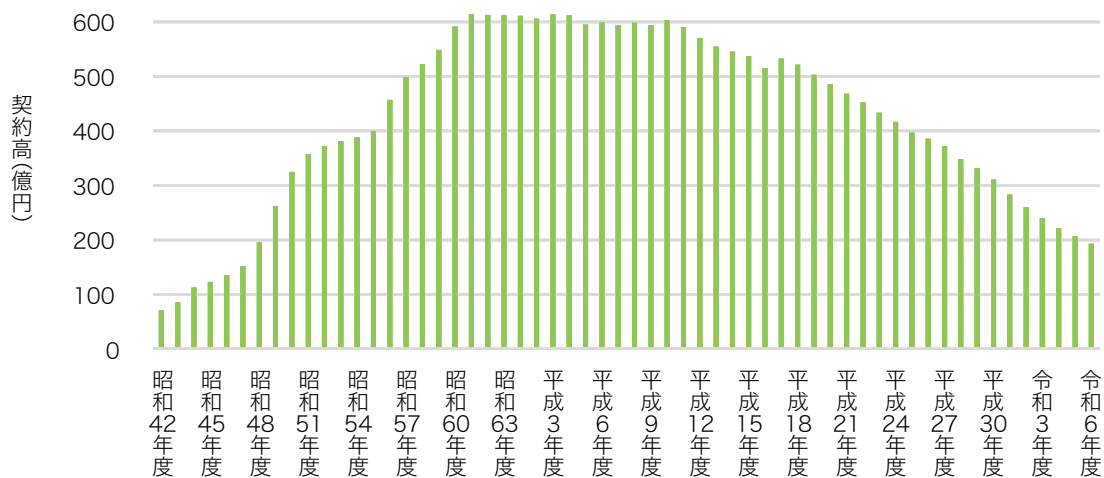
2-4. 火災共済付帯保険加入状況の推移



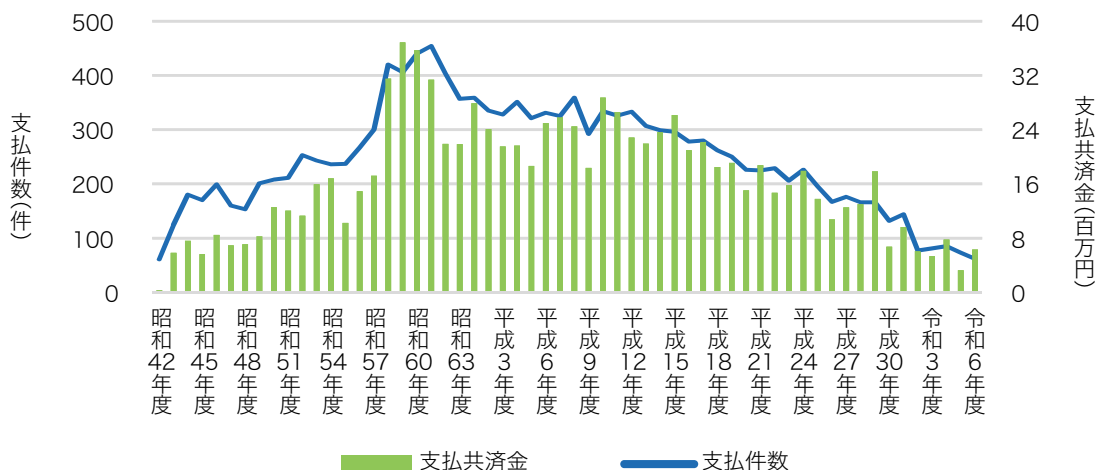
3-1. 交通等傷害共済加入状況の推移



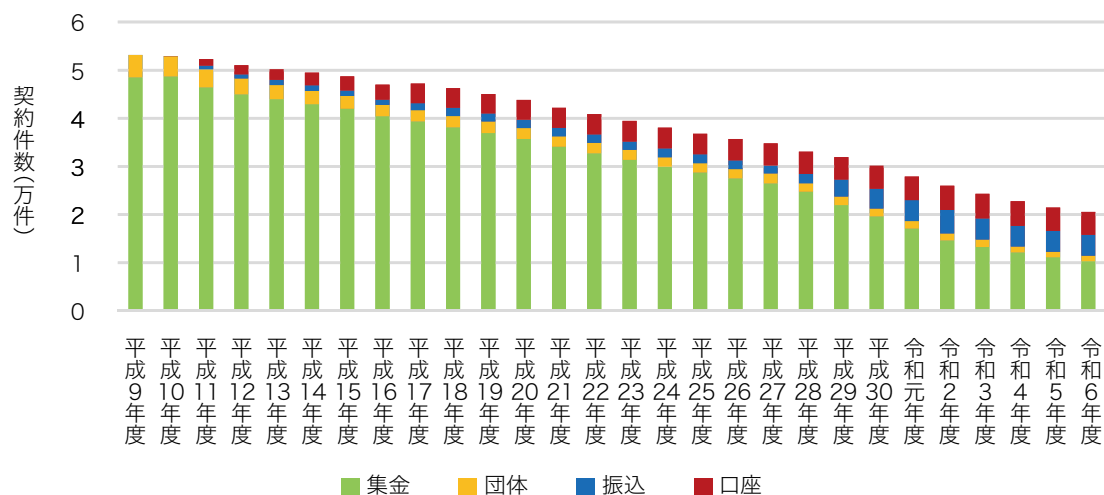
3-2. 交通等傷害共済契約高の推移



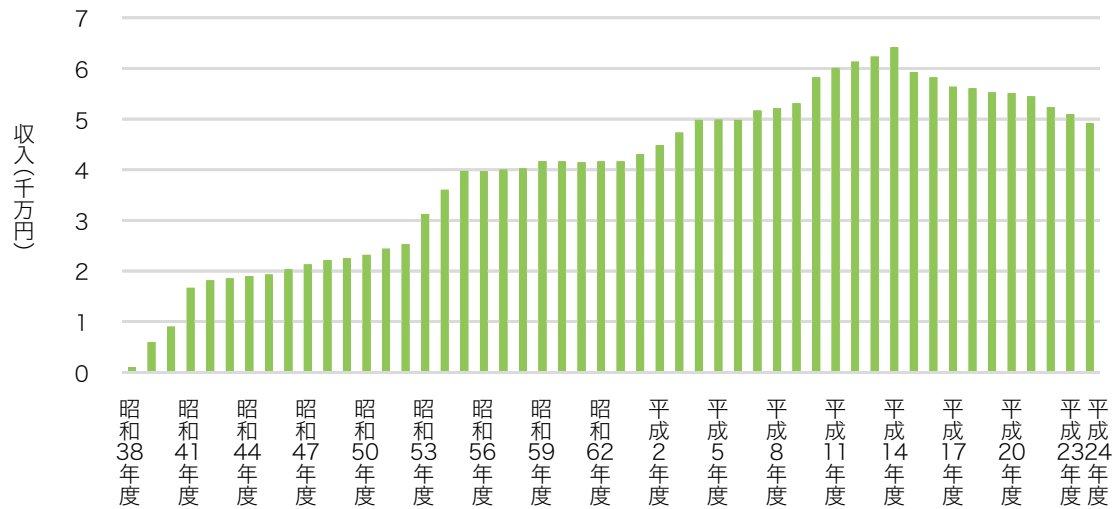
3-3. 交通等傷害共済金支払状況の推移



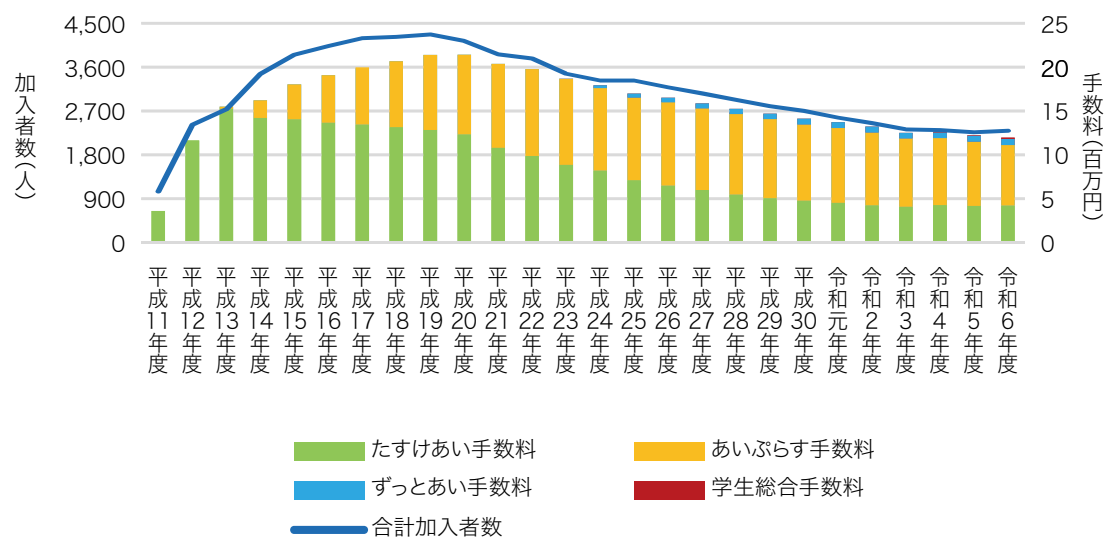
4. 掛金払込方法(火災共済・交通等傷害共済)の推移



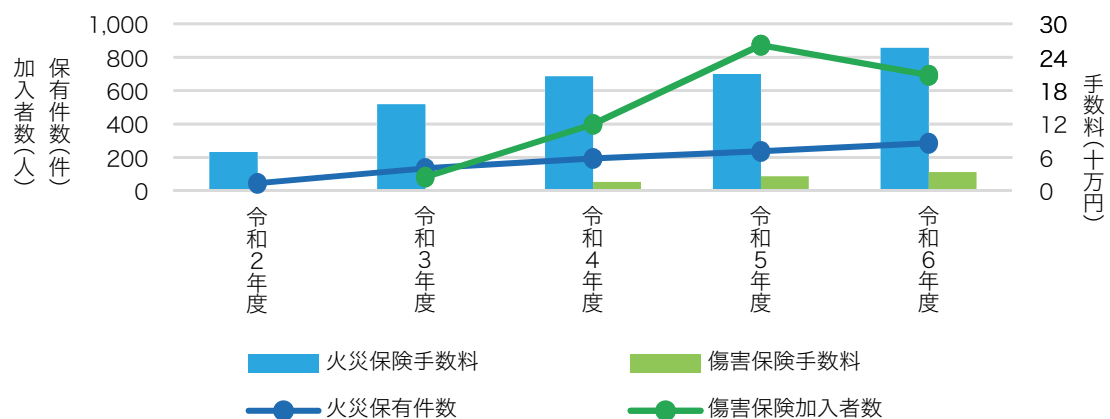
5. 住宅(富松団地)収入の推移



6. 生命共済加入状況の推移



7. 保険代理(個人用火災総合保険・交通事故傷害保険)加入状況の推移



組合事業変遷一覧表

組合員数、元受共済事業等の変遷一覧表

年度	組合員		火災共済事業					交通等傷害共済事業					住宅事業	参考（尼崎市）	
	人数 （人）	出資金 （円）	契約件数 （件）	受入共済 掛金 （円）	契約高 （万円）	支払 件数 （件）	支払 共済金 （円）	被共済者 （人）	受入共済 掛金 （円）	契約高 （万円）	支払 件数 （件）	支払 共済金 （円）	収入 （円）	人口 （人）	世帯数
昭和30年	14,634	756,650	14,633	7,475,515	228,095	7	253,950							337,504	77,766
昭和31年	17,797	915,700	15,515	8,146,922	247,955	26	433,160							348,471	80,526
昭和32年	21,044	1,078,900	18,204	9,714,053	298,135	36	1,069,480							365,765	84,987
昭和33年	23,462	1,201,450	19,037	10,987,779	399,690	43	724,850							378,156	88,522
昭和34年	25,829	1,321,800	20,093	12,255,890	463,135	66	2,400,900							388,727	91,667
昭和35年	27,510	1,406,400	20,692	13,153,847	487,670	61	2,377,200							410,215	103,243
昭和36年	29,941	1,529,650	21,294	15,679,074	644,175	62	2,476,900							432,658	111,092
昭和37年	32,685	1,667,300	22,464	17,739,237	766,220	77	6,633,700							455,322	120,409
昭和38年	35,211	1,796,250	22,935	19,867,304	817,770	80	2,760,600						1,019,333	475,415	129,460
昭和39年	37,438	5,791,650	24,085	22,150,780	911,200	57	5,649,000						5,974,592	492,435	136,983
昭和40年	39,517	8,250,050	24,366	23,865,770	977,880	54	6,624,600						8,971,151	504,318	137,669
昭和41年	41,485	10,679,750	24,414	26,297,374	1,176,940	51	5,372,500						16,675,953	515,723	142,786
昭和42年	45,184	13,601,650	25,524	30,002,698	1,215,770	93	10,067,500	14,193	8,674,800	709,650	61	290,500	18,137,190	529,914	147,935
昭和43年	48,173	16,658,900	25,175	34,575,140	1,442,940	64	8,193,500	17,087	8,595,000	854,350	125	5,830,000	18,534,381	539,774	170,298
昭和44年	51,907	20,415,900	27,030	42,051,192	1,700,840	114	18,956,500	22,513	11,351,400	1,125,650	180	7,610,000	19,005,787	547,585	176,362
昭和45年	54,695	20,474,450	26,501	40,560,855	1,931,420	53	4,653,800	24,576	12,387,700	1,228,800	170	5,645,000	19,292,429	553,241	161,550
昭和46年	57,426	34,702,000	27,621	40,812,852	2,155,970	75	12,275,000	26,991	13,564,300	1,349,550	199	8,475,000	20,342,226	552,008	162,039
昭和47年	60,257	34,661,700	28,492	43,271,584	2,571,400	60	4,905,500	30,395	15,279,700	1,519,750	160	6,919,900	21,276,003	550,179	161,737
昭和48年	63,173	40,088,550	28,924	50,817,066	3,424,370	64	5,651,000	32,658	19,718,100	1,962,500	153	7,089,800	22,131,322	548,767	162,490
昭和49年	67,363	55,049,500	30,491	59,812,393	4,083,960	87	15,994,000	38,458	26,339,465	2,623,950	201	8,249,240	22,481,842	548,090	164,069
昭和50年	72,765	55,130,900	31,953	88,464,132	6,132,610	111	38,535,500	44,611	32,554,969	3,248,000	208	12,558,100	23,164,918	545,535	170,894
昭和51年	76,486	64,697,900	32,810	103,262,676	7,264,180	96	19,585,000	47,273	35,603,467	3,571,100	211	12,032,000	24,369,829	544,497	171,151
昭和52年	79,301	76,741,900	33,883	113,544,251	8,034,020	115	40,267,000	48,977	37,489,275	3,721,750	253	11,290,500	25,274,752	540,073	170,433
昭和53年	81,673	95,569,150	33,877	136,964,670	9,886,000	113	48,930,500	49,625	38,335,925	3,811,050	243	15,972,500	31,235,196	534,990	169,490
昭和54年	84,086	116,635,550	34,299	146,037,251	12,138,150	83	38,386,500	49,638	39,018,100	3,879,750	236	16,813,040	36,031,103	530,198	168,871
昭和55年	86,744	145,971,900	34,607	159,066,839	13,706,780	77	34,409,000	50,416	40,288,192	3,999,450	237	10,240,700	39,766,692	523,038	177,825
昭和56年	88,930	187,075,350	35,241	172,914,965	15,003,570	88	82,790,267	51,667	45,734,725	4,571,200	267	14,897,330	39,696,684	518,626	177,450
昭和57年	91,041	263,920,750	35,261	180,082,341	15,807,570	81	64,576,683	51,388	49,789,350	4,990,800	300	17,185,240	40,077,653	516,354	178,078
昭和58年	92,974	301,922,250	35,313	185,352,965	16,374,810	88	29,033,235	51,483	52,132,375	5,222,800	420	31,523,800	40,266,935	514,785	179,196
昭和59年	95,399	365,033,700	36,319	187,384,023	17,771,690	82	86,616,695	52,006	54,806,000	5,484,400	406	36,866,250	41,677,799	511,544	180,294
昭和60年	97,790	416,322,800	36,556	193,988,158	18,849,240	93	76,806,553	53,494	57,635,950	5,914,600	440	35,694,820	41,609,907	509,405	178,327
昭和61年	99,706	456,858,550	36,795	200,943,901	19,657,280	63	60,303,010	53,431	58,921,600	6,142,800	454	31,353,500	41,443,354	507,753	179,026
昭和62年	101,431	499,619,700	36,664	204,090,496	20,189,090	82	86,214,887	52,358	58,599,800	6,124,500	403	21,896,900	41,601,076	504,879	179,840
昭和63年	102,776	531,683,850	36,715	207,148,352	20,694,080	48	56,980,604	51,612	58,583,050	6,123,000	357	21,864,000	41,601,076	502,727	180,972
平成元年	103,872	540,937,800	36,456	215,099,145	21,663,330	58	49,195,150	50,797	58,381,200	6,110,150	359	27,878,600	43,037,393	500,848	182,557
平成 2 年	104,844	550,663,450	36,099	217,089,479	22,071,200	67	25,769,930	49,631	57,779,875	6,060,250	335	24,092,500	44,848,972	499,068	186,228
平成 3 年	106,626	575,400,600	36,485	286,339,264	30,064,790	75	90,567,173	49,686	58,376,850	6,137,350	328	21,511,500	47,303,902	497,930	188,515
平成 4 年	83,992	582,834,200	36,261	294,457,808	31,122,170	73	129,846,218	48,964	58,122,275	6,117,350	351	21,627,700	49,836,288	497,283	190,688
平成 5 年	62,612	555,278,700	35,669	296,961,435	31,491,510	50	73,234,664	47,057	56,723,800	5,950,500	321	18,641,500	49,941,277	495,894	192,499
平成 6 年	63,709	552,961,450	35,470	303,378,805	32,433,740	70	112,744,205	46,373	57,125,069	5,993,600	331	24,949,800	49,867,449	492,793	193,337
平成 7 年	64,411	548,522,150	34,119	299,632,687	32,371,020	56	94,862,469	44,927	56,753,531	5,944,250	325	25,824,660	51,666,264	487,665	191,242
平成 8 年	65,067	542,698,300	33,554	301,171,980	32,718,360	41	46,760,323	44,290	57,344,590	5,990,950	359	24,467,140	52,112,735	484,724	192,456
平成 9 年	65,569	537,976,750	32,814	299,914,415	32,763,920	54	62,309,516	43,241	56,935,150	5,939,600	292	18,346,980	53,078,342	480,382	193,246
平成10年	66,446	535,176,000	32,480	300,547,809	33,022,240	69	99,668,510	42,792	57,854,150	6,035,550	334	28,735,200	58,215,453	478,000	194,739
平成11年	67,210	531,329,900	32,161	310,209,090	33,304,290	48	59,211,175	41,369	56,828,216	5,905,750	326	26,584,200	60,099,242	466,187	195,479
平成12年	67,957	527,055,500	31,554	302,947,770	34,285,200	54	45,598,304	39,302	54,890,569	5,700,800	333	22,829,080	61,338,930	465,135	190,577
平成13年	68,624	523,038,850	31,136	306,154,490	35,070,900	42	47,043,389	37,855	53,520,553	5,544,750	307	21,944,840	62,303,665	464,286	192,140
平成14年	69,076	526,602,900	30,636	305,408,500	35,169,140	42	74,531,112	36,832	52,763,726	5,452,350	299	23,622,040	64,162,340	463,544	193,821
平成15年	69,419	513,192,950	30,033	302,182,213	34,890,570	54	131,460,241	35,978	52,027,020	5,371,850	296	26,143,400	59,250,442	462,849	195,603
平成16年	69,601	508,719,800	29,163	316,833,842	36,731,500	46	83,753,693	34,122	49,955,054	5,154,050	278	20,961,000	58,228,843	461,713	197,181
平成17年	70,537	504,168,500	28,525	348,304,671	40,453,240	47	109,063,422	35,551	51,754,901	5,327,000	280	22,199,000	56,345,689	461,903	200,977
平成18年	70,981	500,794,200	27,800	343,252,032	39,955,540	58	71,694,410	34,436	50,751,941	5,214,700	262	18,476,280	56,064,988	462,200	201,522
平成19年	71,059	495,637,650	27,116	337,151,966	39,321,120	28	12,826,984	32,992	48,990,402	5,030,350	250	19,089,600	55,254,214	461,202	203,317
平成20年	71,062	490,783,750	26,328	328,554,797	38,368,450	69	49,288,990	31,673	47,383,569	4,855,150	226	15,040,200	55,106,171	462,002	205,960
平成21年	70,874	485,752,800	25,347	318,439,487	37,247,750	61	164,062,815	30,343	45,729,239	4,681,100	225	18,729,000	54,451,570	462,748	208,446
平成22年	70,486	477,570,150	24,425	306,689,881	35,902,450	31	73,739,870	29,273	44,227,483	4,524,250	229	14,681,600	52,304,487	453,582	209,443
平成23年	68,988	462,843,400	23,552	296,706,660	34,770,510	22	47,511,149	27,964	42,409,237	4,333,000	206	15,811,600	50,947,262	451,591	210,125
平成24年	55,803	403,022,550	22,729	288,732,707	33,831,700	30	102,436,311	26,692	40,849,952	4,166,300	226	17,925,600	49,151,880	450,142	210,939
平成25年	52,374	377,194,300	21,975	280,640,122	32,967,590	20	130,898,305	25,479	38,940,656	3,969,150	195	13,769,000		448,688	211,650
平成26年	49,393	352,735,800	21,265	273,729,350	32,174,940	23	41,527,907	24,613	37,858,369	3,855,850	167	10,754,000		446,799	212,221
平成27年	46,065	323,575,850	20,631	266,379,125	31,371,170	16	40,929,210	23,783	36,551,577	3,719,050	176	12,529,600		452,185	210,520
平成28年	42,497	298,726,000	19,841	258,621,230	30,447,340</										

受託共済事業変遷一覧表

年度	生命共済（コープ共済）									
	たすけあい		あいぶらす		ずっとあい		学生総合保険		合計	
	加入者数 (人)	受入受託手数料 (円)	加入者数 (人)	受入受託手数料 (円)	加入者数 (人)	受入受託手数料 (円)	加入者数 (人)	受入受託手数料 (円)	加入者数 (人)	受入受託手数料 (円)
平成11年	1,045	3,593,970							1,045	3,593,970
平成12年	2,414	11,645,784							2,414	11,645,784
平成13年	2,628	15,235,135	103	254,164					2,731	15,489,299
平成14年	3,087	14,198,215	370	2,002,872					3,457	16,201,087
平成15年	3,248	14,055,936	605	3,959,877					3,853	18,015,813
平成16年	3,249	13,644,970	780	5,428,717					4,029	19,073,687
平成17年	3,232	13,440,238	962	6,528,578					4,194	19,968,816
平成18年	3,122	13,141,991	1,095	7,513,295					4,217	20,655,286
平成19年	3,057	12,818,879	1,209	8,566,140					4,266	21,385,019
平成20年	2,875	12,320,592	1,259	9,097,597					4,134	21,418,189
平成21年	2,648	10,775,792	1,212	9,578,670					3,860	20,354,462
平成22年	2,554	9,869,816	1,222	9,903,264					3,776	19,773,080
平成23年	2,261	8,852,816	1,183	9,787,455	19	14,320			3,463	18,654,591
平成24年	2,104	8,198,763	1,140	9,415,237	77	325,353			3,321	17,939,353
平成25年	1,963	7,116,267	1,245	9,402,956	116	454,099			3,324	16,973,322
平成26年	1,815	6,486,628	1,237	9,506,912	132	514,872			3,184	16,508,412
平成27年	1,712	5,995,317	1,208	9,291,482	139	587,517			3,059	15,874,316
平成28年	1,609	5,467,693	1,171	9,185,269	144	599,112			2,924	15,252,074
平成29年	1,524	5,067,454	1,121	9,009,058	152	613,740			2,797	14,690,252
平成30年	1,453	4,774,308	1,082	8,670,007	164	666,914			2,699	14,111,229
令和元年	1,359	4,526,696	1,044	8,534,216	161	665,117			2,564	13,726,029
令和2年	1,302	4,251,968	983	8,286,788	163	676,965			2,448	13,215,721
令和3年	1,249	4,078,706	910	7,769,137	159	666,121			2,318	12,513,964
令和4年	1,276	4,271,824	857	7,626,576	157	666,404	17	36,614	2,307	12,601,418
令和5年	1,285	4,182,036	789	7,311,224	161	682,139	28	62,835	2,263	12,238,234
令和6年	1,304	4,215,500	756	6,900,885	162	687,051	73	155,101	2,295	11,958,537

火災共済付帯保険変遷一覧表

年度	借家人賠償責任保険		類焼損害費用保険		個人賠償責任保険		合計	
	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)
平成23年	7	844					7	844
平成24年	42	4,971					42	4,971
平成25年	71	8,929					71	8,929
平成26年	73	9,111					73	9,111
平成27年	80	10,175					80	10,175
平成28年	80	10,370					80	10,370
平成29年	88	11,345	304	29,717	224	18,556	616	59,618
平成30年	98	12,642	553	54,050	448	37,175	1,099	103,867
令和元年	107	10,409	649	64,279	548	43,238	1,304	117,926
令和2年	124	11,488	669	66,601	594	46,982	1,387	125,071
令和3年	135	12,208	657	65,410	601	47,583	1,393	125,201
令和4年	138	12,579	620	61,723	571	45,201	1,329	119,503
令和5年	133	12,121	623	62,022	401	34,547	1,157	108,690
令和6年	133	12,189	626	62,322	306	27,630	1,065	102,141

保険代理事業変遷一覧表

年度	個人用火災総合保険		交通事故傷害保険		合計	
	保有件数 (件)	受入保険代理手数料 (円)	加入者数 (人)	受入保険代理手数料 (円)	加入者数 (人)	受入保険代理手数料 (円)
令和2年	46	698,183			46	698,183
令和3年	135	1,552,117	83	31,325	218	1,583,442
令和4年	195	2,056,129	399	163,867	594	2,219,996
令和5年	237	2,097,922	873	264,254	1,110	2,362,176
令和6年	286	2,568,184	693	338,695	979	2,906,879

※交通事故傷害保険の加入件数は、保有人員を示しています。

掛金払込方法（火災共済・交通等傷害共済） 変遷一覧表

年度	取扱件数（件）			
	集金	団体	振込	口座振替
昭和30年 ～ 平成8年	この期間の払込方法は 集金と団体のみでした			
平成9年	48,493	4,640	-	-
平成10年	48,662	4,238	-	25
平成11年	46,409	3,754	784	1,354
平成12年	44,945	3,331	831	1,894
平成13年	43,960	2,923	1,085	2,238
平成14年	42,887	2,783	1,165	2,635
平成15年	41,944	2,690	1,130	2,938
平成16年	40,411	2,357	1,087	3,132
平成17年	39,304	2,358	1,468	4,103
平成18年	38,080	2,372	1,729	4,059
平成19年	36,918	2,386	1,687	4,057
平成20年	35,690	2,267	1,732	4,114
平成21年	34,073	2,189	1,734	4,177
平成22年	32,698	2,199	1,737	4,232
平成23年	31,340	2,101	1,728	4,293
平成24年	29,917	1,978	1,861	4,284
平成25年	28,692	1,985	1,844	4,263
平成26年	27,472	1,950	1,808	4,452
平成27年	26,452	2,068	1,638	4,608
平成28年	24,721	1,751	1,990	4,586
平成29年	21,951	1,784	3,535	4,646
平成30年	19,592	1,616	4,127	4,837
令和元年	17,070	1,554	4,382	4,883
令和2年	14,614	1,465	4,897	5,011
令和3年	13,240	1,549	4,406	5,126
令和4年	12,094	1,233	4,319	5,138
令和5年	11,097	1,135	4,364	4,880
令和6年	10,302	1,137	4,342	4,760

※集金…契約者の自宅に外務員・取次所（現 共済募集人）などが訪問し掛金を支払う方法

※団体…町会・労働組合・消防団などの団体を通じて掛金を支払う方法

※振込…郵便局またはコンビニエンスストアで掛金を支払う方法

編集後記

～創立70周年記念誌編纂に見えた先人のパワー～

この「創立70周年記念誌」は、当組合におきまして初めての記念誌発行となります。

令和7年6月6日に開催しました創立70周年記念式典が大盛況となった余韻の中、8人の全職員が各分野を受け持ち、記念誌の編纂に取り組みました。編纂にあたり倉庫奥を探っておりますと、古いポスターやチラシ類が見つかりレトロなデザインや今では規制される表現が懐かしく心が浮き立ちました。

私はこの組合に従事して36年目となります。この間、広告物の作成に何気なく使用していた『ひとりの災害、みんなで共済』という標語は、創立10周年記念に募集した標語コンクールの市長賞であったことが分かりました。長らく使い続けられているこの標語は、「相互扶助」を親しみやすく表現し、組合員の心を掴んだのだと思います。

さて、当組合は、設立時から昭和53年までは尼崎市から派遣された職員や臨時職員により業務が行われ、昭和54年に組合固有職員の採用が始まりました。平成21年3月から順次、諸先輩方4名が定年を迎えられ退職されました。この組合の設立経緯や諸先輩方がどのようにして事業を広められたのかをこの機会にお聴きしたかったのですが、連絡が取れなかった方や体調が優れない方もあり残念ながらそれは叶いませんでした。

そんな中、私の知らない組合の貴重な写真や資料が尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズで次々に見つかり、その都度、諸先輩方の業績に驚きと感服の連続でした。

組合員がお金を出し合い、災害などの被害に遭い困った時に共済金を受け取ることで生活の安定を図ろうとする仕組み作りに奮起し、いざ組合の設立に出資を募り、前例のない方法で組合加入を呼びかけ、そして事業開始後も新しい制度を取り入れながら組合員を増やし続けたパワーはすばらしいものでした。これらの掘り起こされた組合の歴史たる先人の数々の功績を大変光栄に思い、この記念誌に収めることができました。私達は、組合員に対する最大の奉仕を念頭に置き、諸先輩方の思いを受け継ぎながら未来に向けこの事業を進めてまいります。そして、この記念誌が後世の組織の発展の一助となれば幸いです。

最後になりますが、ご多忙の中、ご祝辞や記事をお寄せいただきました皆様、貴重なお写真や資料を提供いただきました皆様、そしてたくさんの助言をいただきました出版樹々の皆様をはじめ関係各位に心より御礼申し上げます。

令和7年12月 尼崎市民共済生活協同組合
理事兼事務局長 中村 由起子



職員



令和7年11月6日 撮影

後ろ左から 高瀬 一嘉 赤川 潤一 宮崎 恵 浅野 重子
前左から 中畑 貴喜 中村 由起子 内間 崇平 神例 裕子



平成8年10月6日 尼崎市民共済親睦会 明治村への親睦旅行

定年による退職者

・ 松川 優子 (主任)	平成21年 3月31日定年	後列中央
・ 小西 博美 (主任)	平成22年 3月31日定年	前例左から 2人目
・ 上田 広且 (常務理事)	令和 2年 3月31日定年	前列右から 3人目
・ 福崎 幸代 (次長)	令和 2年 3月31日定年	前列右から 2人目

エピソード

昭和37年12月、尼崎市役所内に構えていた事務所において、この金庫を迎え入れました。

昭和45年5月には尼崎市消防署に移転し、昭和57年12月に現在の事務所に落ち着きました。

平成7年1月、あの朝、事務所の書庫が全部倒れ書類が散乱し、呆然と立ち尽くす私達職員を、金庫は微動だにせず、「さあ、片付けよう。」と語っていたように思いました。

共済契約が舞い込んで来ていた時期も組合員の獲得に四苦八苦する現在も、金庫はドーンと腰を据え、「大切な物の保管はまかせろ」と組合を見守り続けています。

(昭和37年12月28日 イトーキ製 購入金額5万円)



創立70周年記念誌作成委員

中村 由起子(右)

宮崎 恵(左)

尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年記念誌

発行日	令和7年12月20日	資料提供	尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズ
発行	尼崎市民共済生活協同組合 〒660-0881 尼崎市昭和通2丁目6番68号 尼崎市中小企業センター7階 TEL 06-6481-0005	制作	出版樹々／寿印刷株式会社 〒555-0021 大阪市西淀川区歌島1丁目4番4号 TEL 06-6471-3434
編集	創立70周年記念誌作成委員 中村 由起子 宮崎 恵		



尼崎市民共済



尼崎市立歴史博物館



出版樹々



Since 1955